

令和  
2年度

大分県地域リハビリテーション  
**活動報告書**

大分県リハビリテーション支援センター

独立行政法人 地域医療機能推進機構

**湯布院病院**

# 目 次

○ご挨拶 .....	1
○大分県における支援体制	
1. 大分県における地域リハビリテーション支援体制 .....	2
・大分県リハビリテーション支援センター運営部運営規程	
2. 県下関係機関との連携 .....	5
・三者会議運用規定、拡大運営会議運用規程、イメージ図	
○大分県リハビリテーション支援センター活動報告および地域リハビリテーション関連活動報告	
1. 令和2年度大分県リハビリテーション支援センター事業報告 .....	8
2. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告 .....	11
3. おおいた食のリハビリテーション研究会活動報告 .....	13
○大分県地域リハビリテーション広域支援センター活動報告	
・東部圏域 東国東地域 .....	16
・東部圏域 別杵速見地域 .....	17
・中部圏域 大分地域 .....	18
・中部圏域 白津地域 .....	20
・南部圏域 佐伯地域 .....	22
・豊肥圏域 大野地域 .....	23
・豊肥圏域 竹田地域 .....	24
・西部圏域 日田玖珠地域 .....	25
・北部圏域 中津地域 .....	26
・北部圏域 宇佐高田地域 .....	27

○県内地域リハビリテーション専門職能団体（拡大運営会議構成団体）活動報告（五十音順）

・一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会	30
・公益社団法人 大分県栄養士会	32
・NPO 法人 大分県介護支援専門員協会	34
・一般社団法人 大分県介護福祉士会	36
・公益社団法人 大分県看護協会	38
・公益社団法人 大分県言語聴覚士協会	40
・一般社団法人 大分県公認心理師協会（大分県臨床心理士会）	42
・公益社団法人 大分県作業療法協会	44
・一般社団法人 大分県歯科医師会	47
・一般社団法人 大分県歯科衛生士会	49
・大分県視能訓練士会	51
・大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	53
・大分県地域リハビリテーション研究会	54
・一般社団法人 大分県病院協会	56
・公益社団法人 大分県放射線技師会	58
・公益社団法人 大分県薬剤師会	60
・公益社団法人 大分県理学療法士協会	62
・公益社団法人 大分県臨床検査技師会	64
・公益社団法人 大分県臨床工学技士会	68

連絡先一覧

1. 県リハ支援センター、広域支援センター所在地・連絡先	70
2. 県内地域リハビリテーション専門職能団体（拡大運営会議構成団体）連絡先	71



## ご挨拶

独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯布院病院院長 三原 太

大分県リハビリテーション支援センター（以下、県リハ支援センター）では、地域の皆様が住み慣れたところでこれからも過ごしていけるように、皆様が自分自身のことを思い、自分のことを自分で決められ、自分で実行できるような、自立した生活やそれに近い状態が継続できるように、と願っております。そのために、リハビリテーションなどで支援ができるよう、大分県を始めとし、他の多数の団体とともに、毎年、種々の方面からの企画・立案・実施に努めています。

当、湯布院病院が大分県からご指定をいただいております県リハ支援センターの活動は、以下のごとくです。大分県、県リハ支援センター、広域支援センターによる年度事業の確認と調整を行うこと、その三者会議を年2回開催すること。県、県リハ支援センター、地域リハビリテーション主要関係団体との拡大運営会議を年1回開催すること。広域支援センター実務者と次年度事業の方針を協議すること、県地域リハビリテーション研究会との合同研修会を年1回開催すること、県地域リハビリテーション・ケア大会を年1回開催すること、技術研修会を随時開くこと、そして、県地域包括ケア研究会、おおいた食のリハビリテーション研究会、県訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション研究会を支援すること、などがあります。

しかしながら、令和2年度も、新型コロナウイルス感染症の広がりにより各種の会合、集会などが多方面で種々の制約を受けました。その中で、7月には熊本県球磨川流域で豪雨災害が生じ、引き続いて大分県でも玖珠川、三隈川、大分川流域で豪雨災害が生じ、多数の被災者が生じましたが、感染症対策や広域移動の制限などで、JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）の救援にも制限がありました。対応について今後の検討項目となりました。今後、ワクチン接種の拡充などにより、はやく新型コロナウイルス感染症の影響がなくなるようにと願っております。

これらの活動は、県福祉保健部、健康づくり支援課と高齢者福祉課、広域支援センター、各種職能団体等の皆様のご尽力・ご協力のゆえでございます。この場を借りて深くお礼を申し上げます、今後ともご支援をいただきますよう、お願いを申し上げます。

**JCHO湯布院病院**  
**大分県リハビリテーション支援センター**  
**運 営 規 程**

(目 的)

第1条 大分県リハビリテーション支援センター（以下 県リハセンター）は、大分県、広域支援センター、諸職能団体と緊密に連携をとりながら、障害のある人や高齢者、さらには県民一人一人が地域で安心して生き生きとした生活が送れるように、地域リハビリテーション活動の体制整備と充実を図ること、また、災害時のリハビリテーション支援体制づくりにも取り組むこと、を目的に設置する。

(組 織)

第2条 県リハセンター長（以下 センター長）は県リハセンターの事業全般を統括・指揮する。

2 県リハセンターの円滑な事業運営を図るために、県リハセンターに企画調整室、県リハセンター運営部（以下 運営部）を設置する。また、大分災害リハビリテーション推進協議会（以下 大分J R A T）の事務局として大分J R A T事務局を設置する。

3 地域の介護予防・日常生活支援総合事業に協力するため介護予防推進活動班を別に設け、県リハ事業と密接な連携を図る。

(企画調整室)

第3条 企画調整室は医局、看護部、リハビリテーション科、地域連携室、事務部からセンター長が指名する職員をもって構成し、事業計画の策定、事業内容の企画・調整、調査・研究等を担当する。計画の策定にあたっては、大分県、大分県地域リハビリテーション研究会、広域支援センター、必要に応じて関連する諸団体との連絡、連携を図る。

(運営部)

第4条 運営部はセンター長が指名する職員をもって構成し、企画調整室で策定された事業計画の実施にあたるほか、県リハセンターの窓口として、関係機関、団体との連絡、調整等を行う。また、県リハセンターの経理を担当する。

2 センター長は運営部に運営部長を任命し、運営部長は運営部を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、運営部に副運営部長、運営部長補佐、センター事務長を任命できる。

4 運営部には会議を担当する会議企画班、研修会を担当する研修班、J R A Tの支援を行う災害リハビリ支援班、関係機関、団体との連絡、調整及び県リハセンターの経理を担当する庶務班を置く。

(大分J R A T事務局)

第5条 大分J R A T事務局は、災害リハビリテーションの教育、普及、啓発および災害リハビリテーションコーディネーターや支援チームの組織化、訓練、人材育成、DMATやJMAT等との連携、そして大分県および全国規模の災害時における直接的支援活動等の事務局業務を担う。

2 センター長は大分J R A T事務局に事務局長を任命し、事務局長は大分J R A T事務局を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、大分J R A T事務局に事務局長補佐を任命できる。

(協力部門)

第6条 センターに所属する医師、看護師、薬剤師、リハビリテーションセラピスト、医療福祉相談員、

管理栄養士、検査技師、臨床心理士、歯科衛生士、介護福祉士、事務員等は、センター事業の円滑な実施が図られるよう積極的な事業協力を行う。

(任期)

第7条 企画調整室、運営部、大分JRAT事務局職員の任期は原則として1年とする。ただし、任期満了の1ヵ月前までにセンター長もしくは職員から何らかの意思表示がないときは、任期を1年毎に延長するものとする。

(運営委員会)

第8条 県リハセンターの円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会はセンター長、企画調整室、運営部で構成され、運営部長を議長とする。
- 3 運営部長不在時には副運営部長もしくは運営部長補佐が議長を代行する。
- 4 議長は原則として毎月1回定例の運営委員会を開催し、次の事項を審議する。
  - ア 事業計画、事業予算の検討、策定
  - イ 事業内容の検討、実施
  - ウ 研修計画の検討、実施
  - エ 関係機関、団体との連絡調整
  - オ 事業報告、事業決算
  - カ その他必要な事項
- 5 議長は必要に応じて臨時に運営委員会を開催できるものとする。
- 6 議長は必要に応じて運営委員会に、協力部門等に所属する職員の出席を要請し、意見を聞くことができるものとする。

(三者会議)

第9条 県下における地域リハビリテーション支援体制事業を、大分県・県リハセンターおよび広域支援センターの三者が協調し地域の実情を踏まえバランス良く展開するための協議機関として大分県・県リハセンター・広域支援センター合同会議（略称：三者会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
  - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
  - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員
  - 3) 広域支援センター：各センター代表者1名（希望があれば同伴者2名以内可能とする）
- 3 会議の開催は原則年2回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

(拡大運営会議)

第10条 県リハセンターの事業立案に向けた情報収集、並びに事業の円滑な運営に向け、県内の保健・医療・福祉分野における専門職能団体間の緊密な協力と調整を図ることを目的に、県リハセンター拡大運営会議（略称：拡大運営会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
  - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
  - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員

- 3) 必要と認める各種団体の代表者（各種団体については別に定める）。
- 3 会議の開催は原則年1回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

附則 この運用規程は平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この運用規定は平成 15 年 6 月 4 日改訂し施行する。

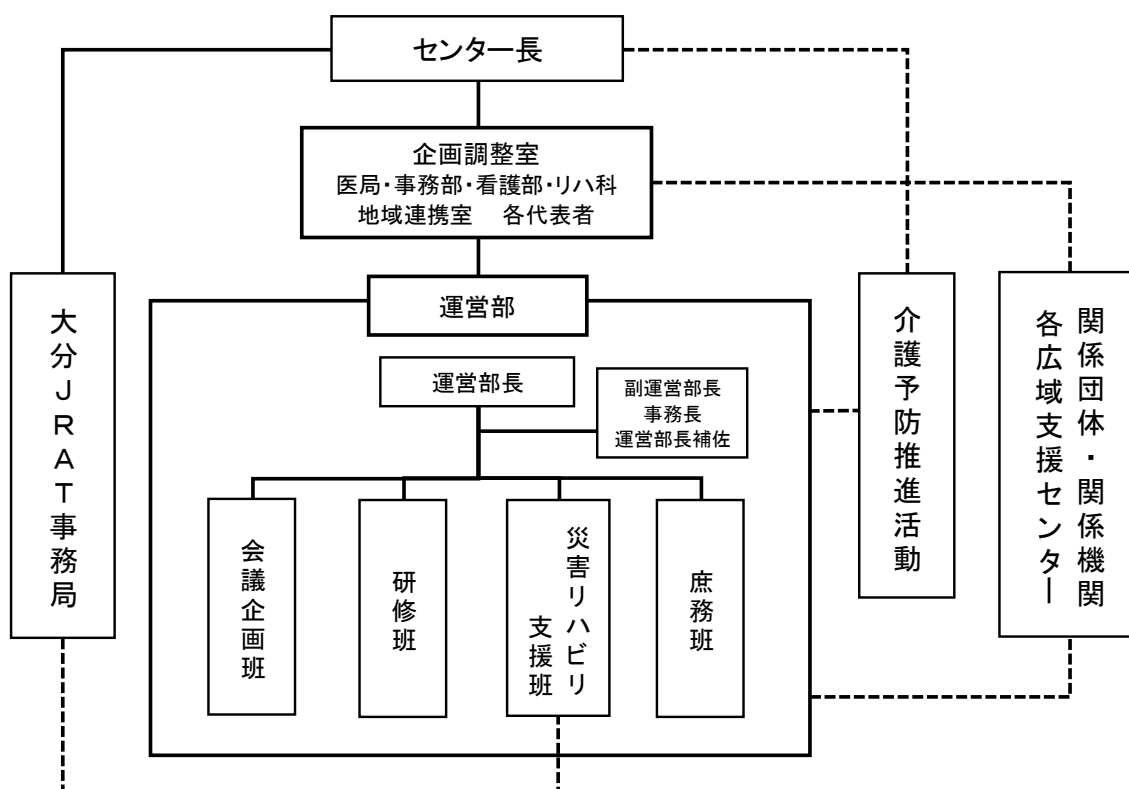
附則 この運用規定は平成 15 年 11 月 12 日改訂し施行する。

附則 この運用規程は平成 26 年 4 月 1 日に病院経営母体の移行に伴う名称の変更を行なう。

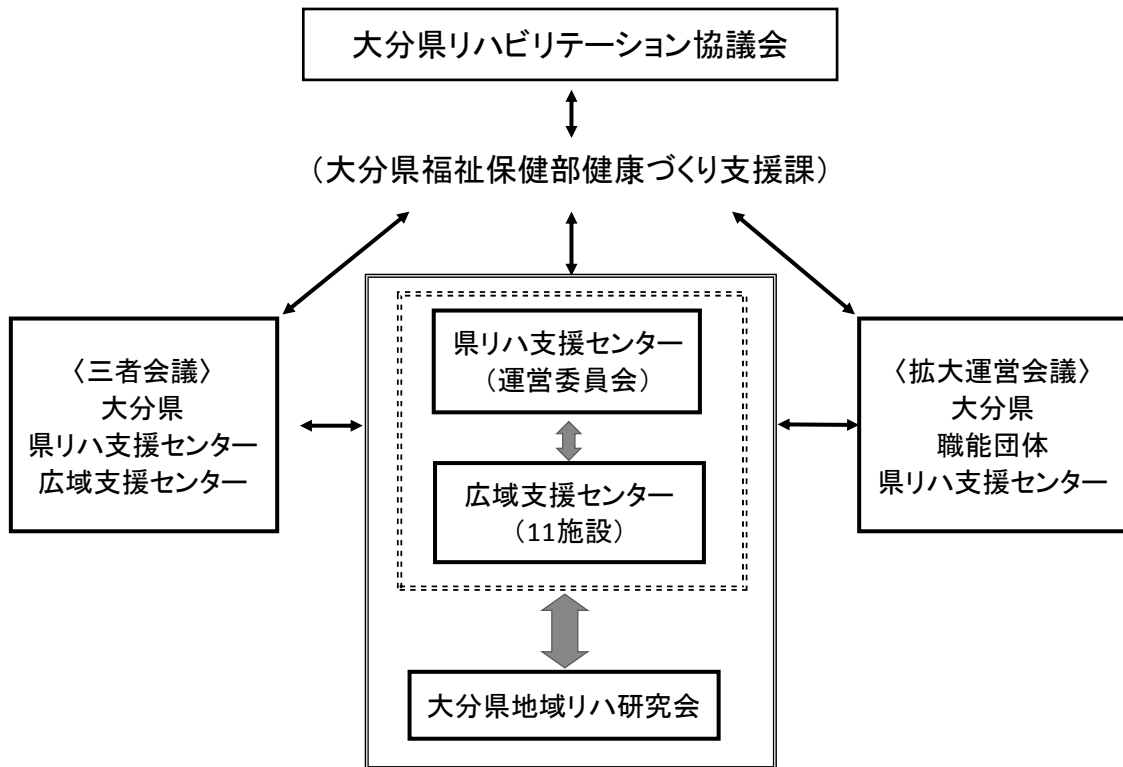
附則 この運用規定は平成 28 年 4 月 1 日より大分県リハビリテーション支援センター業務の委託料一元化にともない、三者会議の位置づけの変更を行う。

附則 この運営規程は平成 30 年 2 月 27 日大分県リハビリテーション協議会にて承認され 4 月 1 日改訂し施行する。

## 大分県リハビリテーション支援センター 組織図



## 三者会議・拡大運営会議の位置づけ



### 広域支援センター（11施設）

（令和3年4月1日現在）

国東市民病院  
 別府リハビリテーションセンター  
 井野辺病院  
 大分リハビリテーション病院  
 臼杵市医師会立コスモス病院  
 長門記念病院  
 帰巖会みえ病院  
 大久保病院  
 済生会日田病院  
 川島整形外科病院  
 佐藤第一病院

### 県リハ支援センター拡大運営会議

参加団体（20）名簿（令和3年4月1日現在）

大分県医療ソーシャルワーカー協会  
 大分県栄養士会  
 大分県介護支援専門員協会  
 大分県介護福祉士会  
 大分県看護協会  
 大分県言語聴覚士協会  
 大分県公認心理師協会（臨床心理士会）  
 大分県作業療法協会  
 大分県歯科医師会  
 大分県歯科衛生士会  
 大分県視能訓練士会  
 大分県地域包括・総合相談・  
     在宅介護支援センター協議会  
 大分県地域リハビリテーション医師懇話会  
 大分県地域リハビリテーション研究会  
 大分県病院協会  
 大分県放射線技師会  
 大分県薬剤師会  
 大分県理学療法士協会  
 大分県臨床検査技師会  
 大分県臨床工学技士会

五十音順





# 広域支援センター

佐藤第一病院 (小野)  
宇佐市法鏡寺77-1  
TEL:0978(32)2110

川島整形外科病院 (杉木・島澤)  
中津市宮夫14-1  
TEL:0979(24)0464

大分県済生会日田病院 (諫山・三木)  
日田市大字三和643-7  
TEL:0973(24)1100

大久保病院 (亀井・阿南)  
竹田市久住町大字栢木6026-2  
TEL:0974(64)7777

社会医療法人帰巖会みえ病院 (石丸)  
豊後大野市三重町赤嶺1250番地1  
TEL:0974(22)2222

国東市民病院 (中村)  
国東市安岐町下原1456番地  
TEL:0978(67)1211

別府リハビリテーションセンター (神河)  
別府市大字鶴見1026-10  
TEL:0977(67)1711

井野辺病院 (佐藤(豊秀)・佐藤(暁))  
大分市大字中尾字平255番地  
TEL:097(586)5522

大分リハビリテーション病院 (渡邊)  
大分市志村字谷ヶ迫765番地  
TEL:097(503)5000

臼杵市医師会立  
コスモス病院 (安藤)  
臼杵市大字戸室字長谷1131-1  
TEL:0972(62)5599

長門記念病院 (土谷)  
佐伯市鶴岡町1-11-59  
TEL:0972(24)3000

※( )内は連絡担当窓口

H 30 年度～

**JCHO湯布院病院** <http://yufuin.jcho.go.jp>

**大分県リハビリテーション支援センター運営部** (佐藤(友)・迫頭・吉村・西ノ園)

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252

R3.4月現在

TEL : 0977(84)3171(代表) FAX : 0977(85)5880

# 大分県リハビリテーション支援センター活動報告 および地域リハビリテーション関連活動報告

## <記載項目>

1. 令和2年度大分県リハビリテーション  
支援センター事業報告
2. 大分県における災害リハビリテーション  
支援体制の構築と実績報告
3. おおいた食のリハビリテーション研究会活動報告

# 1. 令和2年度大分県リハビリテーション支援センター事業報告

## (1) 地域リハビリテーション広域支援センター等への支援

### 1) 第17回大分県リハビリテーション支援センター・

大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

実施日：令和2年10月17日(土) 14:00～16:30(受付13:30～)

全体テーマ：「新型コロナウイルスにどう対応するか」

講演：「施設内における感染症発生時の対応 ～新型コロナウイルス発症患者を経験して～」

講師：竹村 仁 氏 白杵市医師会立コスモス病院 事務長

報告テーマ：「新しい生活様式における介護予防」

### 1) 県からの報告

黒田光代 氏 大分県福祉保健部高齢者福祉課

### 2) 地域活動の状況報告

藤田亘宏 氏 大分県社会福祉協議会 地域福祉部長

会場：J:COM ホルトホール大分 大ホール Zoom オンライン参加のハイブリッド

対象：リハビリテーション関係者

※県リハセンター主催、県地域リハ研究会共催

受講者数：86名(会場32名 オンライン54名)



竹村氏



黒田氏



藤田氏

(2) 新たなリハビリテーション技術の研修等

令和2年度 大分 JRAT 災害リハビリテーション支援研修会

実施日：令和2年9月26日（土）9:30～12:45

研修内容：災害リハビリテーション支援に関する基礎研修

1) 講演：「JRAT 法人化にあたって」

講師：栗原正紀 氏（一社）日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）代表

2) 講演：「災害時に求められる新型コロナウイルス対策」

講師：藤内修二 氏 大分県福祉保健部 健康づくり支援課 課長

3) 講演：「南海トラフ地震を想定した大分県の災害医療体制について」

講師：石井圭亮 氏 大分大学附属病院高度救命救急センター 診療教授

大分救急医学会副会長

会場：大分県消費生活男女共同参画プラザ アイネス 大会議室

対象：県内大分 JRAT 活動支援員

登録者及び災害時リハビリテーション支援に興味があるリハビリ関連職種

参加者数：43名（会場23名 オンライン20名）

(3) 関係団体、医療機関との連絡・調整

1) 第34回三者会議

日時：令和2年5月～6月

\* 新型コロナ感染予防のため書面・メールでの会議

2) 第18回拡大運営会議

日時：令和2年6月

\* 新型コロナ感染予防のため書面・メールでの会議

3) 第35回三者会議

日時：令和2年12月18日（火）13:30～

場所：Zoomを使用したオンライン会議

出席者：県健康づくり支援課

県高齢者福祉課

広域支援センター代表者

主な議題：県リハセンター並びに広域支援センターの令和2年度中間活動報告

県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について

(4) 由布市におけるコロナ禍での介護予防に向けた取り組み

1) 「自宅に居ながら介護予防」チラシの作成 由布市全戸配布

2) ゆふいんラジオを通したリハビリテーション啓発活動

・令和2年5月24日（月）録音 ～定期的に放送

内容：生活不活発病を予防して健康を維持しよう 出演：佐藤友美（OT）

・令和2年8月24日（月）録音 ～定期的に放送

内容：災害時に気を付けたい生活不活発病 出演：高嶋一慶 (PT)

3) コロナ禍における活動量の調査研究

令和2年10月～令和3年2月

対象：健康応援団派遣事業を利用しているお茶の間サロン参加者

内容：新型コロナウイルス感染症の流行前後での活動量、精神的な変化に関する調査

(5) 人的支援

1) 由布市健康応援団派遣事業

理学療法士 計12件

作業療法士 計5件

言語聴覚士 計8件 計25件

2) 地域ケア会議 (大分市 由布市 九重町 豊後高田市 杵築市 玖珠町)

理学療法士 計7件

作業療法士 計15件

言語聴覚士 計10件 計32件

3) 第8期由布市介護保険事業計画策定委員会作業部会

日時：令和3年1～2月 (計3回) OT 佐藤

(6) 関係諸団体との連携

1) 由布地域包括ケア推進協議会

出席者：三原センター長 小野事務長 ST 木村 PT 西ノ園 MSW 割石

\* 随時開催

2) 大分県リハビリテーション協議会

日時：令和3年2月24日 (水)

場所：Zoomを使用したオンライン会議

出席者：三原センター長 PT 迫頭 OT 佐藤

3) 大分県地域リハビリテーション研究会 第32回役員会

令和2年11月 (書面議決)

## 2. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告

### 1. 大分 JRAT 登録の状況

令和2年9月現在 登録者合計 79 名

#### 【内訳】

医師 8 名 理学療法士 49 名 作業療法士 16 名 言語聴覚士 4 名 看護師 1 名 情報技術 1 名

\* 令和2年度は、集合研修が行えない為、新たな登録者を募ることは難しい状況。

### 2. 令和2年度事業

#### 1) 有事活動

・令和2年7月豪雨：

7月4日（土）発災

6日（月）大分 JRAT 災害対策本部設置

主な業務：大分県内の被災状況の注視、県健康づくり支援課との連絡調整

大分 JRAT 構成団体との連絡調整

熊本 JRAT の活動状況の情報提供

8月31日（月）大分 JRAT 災害対策本部 解散

#### 2) 平時活動

##### ①令和2年度大分 JRAT 災害リハ研修会

日時：令和2年9月26日（土） 9:50～12:45

会場：大分県消費生活男女共同参画プラザ アイネス 大会議室 & オンライン（Zoom）

参加人数：43名（会場23名 オンライン20名）

研修内容：災害リハビリテーション支援に関する基礎研修

##### 1) 講演：「JRAT 法人化にあたって」

講師：栗原正紀氏 氏（一社）日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）代表

##### 2) 講演：「災害時に求められる新型コロナウイルス対策」

講師：藤内修二氏 大分県福祉保健部 健康づくり支援課 課長

##### 3) 講演：「南海トラフ地震を想定した大分県の災害医療体制について」

講師：石井圭亮氏 大分大学附属病院高度救命救急センター 診療教授

大分救急医学会副会長

##### ②大分 JRAT 第8回世話人会

日時：令和2年9月26日（土） 13:00～14:00

会場：大分県消費生活男女共同参画プラザ アイネス 小会議室

内容：各事業進捗状況の報告 課題の共有 構成団体の災害対応の情報交換等

##### ③大分 JRAT 事務局会議

日時：令和3年3月17日（水） 18:30～19:45

会場：Zoom を使用したオンライン会議

内容：令和2年度事業の振り返り 令和3年度事業計画立案

有事に備えた課題抽出と対応策の検討

### 3. JRAT九州ブロック関連 オンライン会議（Zoomにて）

#### 1) 1回目

日時：令和2年7月6日（月）

内容：熊本県の被災状況と JRAT 支援体制に関する情報共有

#### 2) 2回目

日時：令和2年9月17日（木）

内容：熊本 JRAT の活動状況の共有 各県の JRAT 体制整備の情報共有

### 3. おおいた食のリハビリテーション研究会 活動報告

本研究会は平成18年12月3日に発足し、令和3年6月現在での会員数は207名である。主な活動は年に2回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、おおいた食リハニュースを年数回発行している。

#### <令和2年度活動報告>

おおいた食のリハビリテーション研究会 総会・第27回研修会  
コロナ感染拡大防止のため、中止となりました。

#### 第14回摂食・嚥下セミナー（共催 大分県社会福祉介護研修センター）

目的：人間の活力の源である「食事」は、おいしく口から食べるという楽しさだけではなく、脳を刺激し生きる喜びにも繋がります。しかし、病院や施設、在宅では「食」に関する何らかの問題を抱えている方は数多く、多職種協働のケアにおいては大きな課題となっています。そこで、摂食・嚥下機能の専門家による知識と技術を学んでいただき、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成するために開催しています。

コロナ感染拡大防止のため、中止となりました。

#### おおいた食のリハビリテーション研究会 第28回研修会

「住み慣れたところでいつまでも元気に過ごすために！」

日時：令和3年3月17日（日）

場所：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

形式：集合型+オンライン型

講演：「多職種の知恵を活かすフレイル予防の地域づくり戦略

～今、知っておきたいフレイルのこと～

講師：東京大学大学院医学系研究会特別研究員 田中 友規先生



#### 広報誌「おおいた食リハニュース」発行

- 第37号 令和3年1月発行
- 特集 義歯ができるまで
- コラム：コロナウイルス対策にも！「歯磨き」だけでなく適切な口腔リハを！！







# 大分県地域リハビリテーション 広域支援センター活動報告

<記載項目>

- ①圏域の特徴・令和2年度目標
- ②研修テーマ
- ③広域主催の主な研修内容
- ④地域での連携状況
- ⑤圏域での災害支援の協力体制について
- ⑥今後の課題

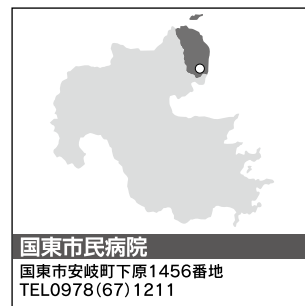
## 東部圏域 東国東地域



センター長  
野 邊 靖 基



担当窓口  
中 村 晋 也



### 【広域主催の主な研修内容】

未実施

※共催の開催・その他の研修会としては  
医師会講演会、大分県心不全包括ケアカンファレンス

#### 医師会講演会

日時：令和2年11月5日（木）19：00～20：00

演題：「大腸癌の外科治療と薬物治療～大腸癌治療ガイドライン2019ポイント解説～」

場所：国東市民病院 ふれあいホール

講師：田原光一郎 国東市民病院副院長

#### 大分県心不全包括ケアカンファレンス

オンラインセミナー&ワークショップ -国東地区-

日時：令和2年12月10日（木）18：45～20：00

演題：「大学での心不全治療の実際～ARNIの使用経験を踏まえて～」

場所：国東市民病院1F ふれあいホール&Zoom 配信

講師：大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座  
救急救命センター 助教  
岡田 憲広 先生

市民公開講座・ホットネット研修会、等は今年度開催なし

### 【地域での連携状況】

相談：「摂食嚥下・口腔ケア・介護・障害関係・歯科医療・その他」、随時対応

共同利用：医療実習（医師、コ・メディカル、救急救命）

リージョナルメディカリスト⇒令和2年8月11日（火）開催

※勉強会等はWebに変更し開催されている

講師派遣：出前講座を開催、4件（内3件はリハビリ関係）

※地域ケア会議において専門職介入を提案された困難事例

7月⇒（間質性肺炎患者の自宅での生活指導・環境調整に対応）

会議：ホットネット会議は今年度、5回のみ開催

国東市在宅医療・介護連携推進運営会議および作業部会議⇒中止中

その他、地域ケア会議・各審査会への参加

糖尿病（若葉の会）への取り組み⇒中止中

※国東市オリジナル体操いきいきちよるちよる体操を改定、リニューアルを行った

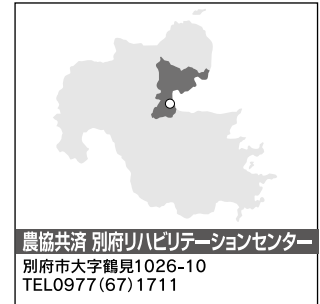
## 東部圏域 別杵速見地域



センター長  
長 岡 博 志



担当窓口  
神 河 宏 明



### 【圏域の特徴・令和2年度目標】

圏域内の各地域にリハビリ専門機関があり、医療・介護・福祉の様々な分野において機関ごとに様々な取り組みをおこない、地域住民をサポートする体制が整備されている。

今年度も、各機関の専門職を対象とした研修会を開催することで各個人のスキルアップを支援し、地域での活動に活かしていけるよう支援をおこなう。

### 【研修テーマ】

認知症患者に接する際に必要となる知識、技術の習得を目的とした研修。

### 【広域主催の主な研修内容】

実施日：令和3年1月25日（月）～ 2月5日（金）

研修内容：『認知症のいろは』

講師：武井崇展医師（社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター）

対象：大分県内に勤務する医療・福祉・介護関係者等

開催方法：新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修とせず Web にて動画を配信した。

参加者数：109 回（動画再生回数）

### 【地域での連携状況】

地域ケア会議への派遣（OT：9回、ST：10回）

別府市：6回

日出町：3回

杵築市：2回

宇佐市：1回

国東市：7回

共催研修会（後援）

令和3年1月24（日）第28回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会

### 【圏域での災害支援の協力体制】

今年度実績無し

### 【今後の課題】 -

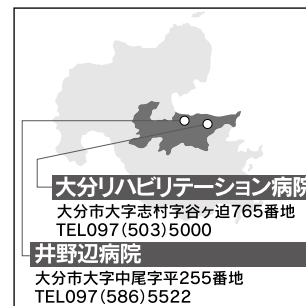
## 中部圏域 大分地域

### 大分リハビリテーション病院

センター長 井上 敏  
担当窓口 渡邊 亜紀  
担当窓口 遠山 文子  
担当窓口 田島 景介

### 井野辺病院

センター長 井野邊 純一  
担当窓口 佐藤 豊秀  
担当窓口 佐藤 暁  
担当窓口 岸本 周作  
担当窓口 後藤 直哉



### 【圏域の特徴・令和2年度目標】

- ・研修会の企画運営、講師の派遣

### 【研修テーマ】

医療および地域リハビリテーションの従事者が、最新の医療及びリハビリテーションの知識を得ることで、臨床現場への導入、新たに地域リハビリテーション体制を構築する発送の一助となることを留意する。

### 【広域主催の主な研修内容】

テーマ：「いつまでも、おいしく食べる支援をする地域づくり（仮）」

目的：超高齢化が進むなか、脳血管障害等の疾患のみならずフレイルやサルコペニアで食事がうまくいかな方がふえつつあるなか、地域で働く多職種がそれぞれの役割を發揮し、いつまでもおいしく、楽しい食事の支援ができる体制の一助とすること

講師：荒金英樹先生（愛生会 山科病院）

日時：令和2年8月30日（日）9：00～12：00（講義90分）

場所：コンパルホール3階 多目的ホール

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における新規感染者の拡大傾向に際し、開催を延期

### 【地域での連携状況】

- ・各種健康教室、介護予防事業に対する講師派遣  
明野自治会へ講師派遣：2回
- ・大分市パワーアップ教室の開催に際し実地支援  
実地支援：6ヶ所  
カンファレンス支援：6ヶ所
- ・大分市在宅医療・介護連携会議 委員派遣
- ・大分市在宅医療・介護連携会議 作業部会委員派遣
- ・大分市難病患者地域支援ネットワーク推進会議 委員派遣
- ・大分市高齢者福祉計画及び大分市介護保険事業計画策定委員会 委員派遣
- ・城南賀来地域包括支援センター主催 介護予防教室 講師派遣（1件）

**【圏域での災害支援の協力体制】**

- ・ JRAT に適宜参加

**【今後の課題】**

- ・ 令和2年度延期となった研修会の開催（Web方式で開催を検討）

## 中部圏域 白津地域



センター長  
下田 勝 広



担当窓口  
安 藤 真 次



### 【圏域の特徴・令和2年度目標】

「働く世代」も含めた地域住民の健康増進、介護予防に対するテーマで活動を行う。

### 【研修テーマ】

地域で生活するすべての住民に対し、ライフステージに合わせた健康増進、介護予防の実践。

医療・介護現場で働く他施設、多職種の方々とともに「支えあう地域づくり」の担い手となるべく地域リハビリテーション体制の構築を図る。

### 【広域主催の主な研修内容】

利用者やスタッフを元気にする関係性の構築（チームビルディング・人材育成）（延期）

地域住民に向けた出前講座 計4回実施

① 日 時：令和2年7月1日（水） 9：30～11：30

テーマ：「体力評価および評価法指導」

講 師：白杵市医師会コスモス病院

理学療法士 安藤真次

佐藤春花

場 所：南津留コミュニティセンター

対象者：サロン利用者

参加者：15名



② 日 時：令和2年8月5日（水） 9：30～11：00

テーマ：「体力評価の結果と運動について」

講 師：白杵市医師会コスモス病院

理学療法士 甲斐友耀

安藤真次

場 所：南津留コミュニティセンター

対象者：サロン利用者

参加者：15名



③ 日 時：令和2年10月16日（金） 13:30～14:10

テーマ：「効果の出るしんけんラジオ体操

講 師：白杵市医師会立コスモス病院

理学療法士 安藤真次

作業療法士 平山玲美

場 所：野津南保育園

対象者：保育士

参加者：8名



④ 日 時：令和3年3月15日（月） 10:00～11:30

テーマ：「膝・腰痛予防について」

講 師：白杵市医師会立コスモス病院

理学療法士 甲斐友耀

理学療法士 佐々木健太

場 所：野津大西サロン

対象者：サロン利用者

参加者：8名



#### 【地域での連携状況】

コロナ渦において人員派遣および受け入れが滞っている状況であったためサロン実践者に対し評価法の指導を行い、派遣できない状況に対する対応を実施した。

中部保健所からは事業所に対するヘルスアップ事業として回数は少なかったが継続して行っている。

#### 【圏域での災害支援の協力体制】

日本DMATと協力し南海トラフ地震が発生した場合を想定した実動訓練や白杵市消防本部と連動した災害訓練を継続中。（今年度は中止）

JRATへの協力体制の整備。

#### 【今後の課題】

- ・オンラインを利用した研修会の実施
- ・白津地域のリハビリテーション広域支援センターを担うスタッフの育成



## 南部圏域 佐伯地域



センター長  
後 藤 陽一郎



担当窓口  
土 谷 健 治



### 【圏域の特徴・令和2年度目標】

特徴：包括支援センターと密に連携を取りながら、自立支援に向けた支援体制の拡充に取り組む

目標：感染症流行期における生活不活発病や認知症の発症、進行予防の為の取り組みについて地域住民が理解し、実践できるようになる。

### 【研修テーマ及び研修内容】

今年度は新型コロナウイルスの感染防止の為、研修会の開催には至っておりません。

### 【地域での連携状況】

- ①研修会講師の依頼及び派遣調整。
- ②研修会の企画、広報及び開催を佐伯市と共同で実施。
- ③地域リハ活動支援事業への協力（スタッフの派遣及び多施設スタッフの派遣調整）
- ④高齢者にやさしい地域づくり協議会参加。
- ⑤佐伯市の通所及び訪問介護事業所各々の連絡会への参加及び協力

### 【圏域での災害支援の協力体制】

現時点では特に無し。

### 【今後の課題】

サロン支援員など、地域住民の受け皿を担うスタッフの介護予防に対する意識やスキルの向上。  
感染症流行期においても生活不活発病を予防していく為の取り組み。

## 豊肥圏域 大野地域



センター長  
松尾 則義



担当窓口  
石丸 知二



### 【圏域の特徴・令和2年度目標】

### 【研修テーマ】

今年度予定なし

### 【広域主催の主な研修内容】

開催予定なし

### 【地域での連携状況】

地域ケア会議アドバイザーの選定。大分県理学療法士協会との協議

### 【圏域での災害支援の協力体制】

特になし

### 【今後の課題】

## 豊肥圏域 竹田地域



センター長  
浅尾 恒 徳



担当窓口  
亀 井 英 孝



担当窓口  
阿 南 捺 希



### 【圏域の特徴・令和2年度目標】

特徴：今年度より、看護師、ケアマネージャー、医療相談員、管理栄養士を運営メンバーとして推薦して頂き、研修企画・運営などに参加して頂く（アドバイザー参加も含む）

目標：・医療・介護に関わる人材のスキルアップにつながる取り組み

- ・ノーリフティングケアの浸透を図る
- ・防災についての知識や備えなどの啓発
- ・地域課題の把握と解消に向けた取り組みを行う
- ・多職種の視点を交えて活動企画を行う

### 【研修テーマ】

- ・在宅で活かせるノーリフティングケア  
（基礎講演・実技指導2回目、導入施設の報告会開催）

### 【広域主催の主な研修内容】

地域包括ケアシステム研修会 「第2回 ノーリフティングケア研修」

実施日：令和2年10月15日（木）18：00～20：00 竹田市総合社会福祉センター

講師：阿南貴将 氏（介護ショップあわや 大分中央事業所）他6名

対象：医療・介護・福祉従事者

参加者数：35名

### 【地域での連携状況】

- ・4月：KSK事業へのスタッフ派遣（1名）
- ・12月：KSK事業へのスタッフ派遣（1名）
- ・12月：豊肥保健所 腰痛予防セミナーの講師派遣（2名）

### 【圏域での災害支援の協力体制】

今年度の活動実績無し

### 【今後の課題】

- ・広域支援センターの普及・啓発
- ・地域課題の把握
- ・地域課題解消に向けた取り組み
- ・多職種が連携しての運営を行う（組織の拡充）

## 西部圏域 日田玖珠地域



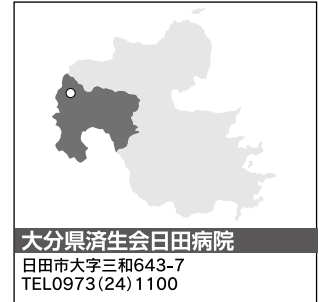
センター長  
林 田 良 三



担当窓口  
諫 山 昌 寿



担当窓口  
三 木 征 博



### 【圏域の特徴・令和元年度目標】

行政・他職能団体との顔の見える関係を維持し、在宅医療・介護の連携推進を図る。

### 【研修テーマ】

開催なし

### 【広域主催の主な研修内容】

開催なし

### 【地域での連携状況】

地域リハビリテーション活動・地域との具体的連携・会議(回数)・共催の研修会・相談、施設利用

#### (1) 会議出席

- ①日田市在宅医療連携会議(2名:月1回:日田市医師会主催)
- ②西部圏域介護予防検討会(1名:令和3年3月16日:西部保健所主催)
- ③地域ケア会議(日田市) / PT 4名・OT 1名を派遣

#### (2) 相談・施設利用

特になし

#### (3) 講師派遣: 2件

日 時: 令和2年10月23日(金) 18:30 ~  
場 所: 特別養護老人ホーム「宝珠の郷」  
テーマ: 「機能訓練について」  
参加者: 施設スタッフ約30名

日 時: 令和3年3月22日(月) 13:30 ~ 15:00

テーマ: 「フレイル予防について」

場 所: パトリア日田小ホール

対 象: ひた健康運動リーダーの会、にこにこステップ運動リーダーの会の方々 100名  
大分県内に勤務する医療・福祉・介護関係者等

### 【圏域での災害支援の協力体制について】

なし

### 【今後の課題】

コロナ禍での事業運営

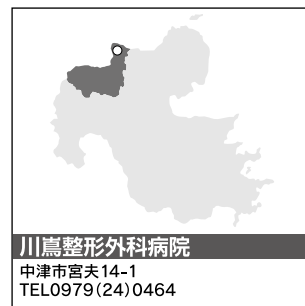
## 北部圏域 中津地域



センター長  
川 島 眞 人



担当窓口  
杉 木 知 武



### 【圏域の特徴・令和2年度目標】

- 健康・運動についての啓蒙活動 地域活動への協力・参加 医療・介護の連携強化  
・・・コロナ禍でどのように活動すべきか・・・試行錯誤して実施

### 【研修テーマ・広域主催の主な研修内容】

- 健康教室（3回 講師：当院 Dr・Ns・PT 参加者 30 名人数制限）  
知って得する口腔ケア（令和2年6月20日（土））  
回復期リハビリ病棟の紹介とリハビリの取り組み（令和2年8月22日（土））  
免疫力を Up（令和2年11月21日（土））
- 骨と関節の日（令和2年10月17日（土） 講師：当院 Dr・Ns・PT 参加人数 30 名人数制限）  
骨粗鬆症の骨折と手術 自宅での体操 栄養指導

### 【地域での連携状況】

- 在宅医療・介護連携推進事業令和2年度 Web 研修会  
日 時：令和2年10月29日（木）19：00～20：30（準備開始18：30～）  
内 容：事例発表『急性期・回復期・位時期のセラピストの役割について』  
グループワーク『セラピストとの連携について考える』  
事例提供者：当院セラピスト 島澤真一 杉木知武 齊藤直人  
場 所：中津市医師会2FからWeb配信  
参加者：Dr・CM・Ns・MSW・PT・OT 78名
- 転倒予防教室（PT派遣 大幡地区14回）  
4月～8月まで休止 9月～令和3年3月まで月2回
- 中津市役所地域ケア会議助言者調整・派遣（4回 PT・OT 派遣 Zoom 出席もあり）
- 中津市寄り合いの場への運動指導士派遣（3回 PT・OT 派遣 令和2年8月26日（水）  
令和2年9月17日（木） 令和2年10月21日（水） 三光・山国地区）
- 高齢者骨折地域連携パス作業部会（1回 PT・OT 3名参加 令和2年6月27日（土））
- 中津市在宅医療・介護連携推進協議会（2回 PT1名出席 令和2年9月30日（水）  
令和3年3月24日（水））
- 中津市在宅医療・介護連携推進協議会評価検討部会（4回 PT 1名出席 令和2年6月11日（木）  
令和2年8月25日（火） 令和2年12月1日（火） 令和3年2月19日（金））
- 中津市地域包括支援センター運営協議会（1回 PT 1名出席 令和3年3月18日（木））



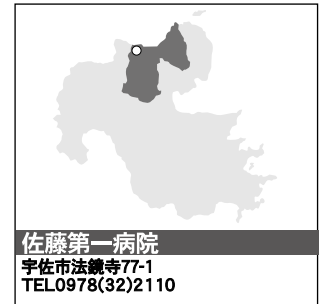
## 北部圏域 宇佐高田地域



センター長  
中原 成 浩



担当窓口  
小 野 秀 幸



### 【圏域の特徴・令和2年度目標】

市町村事業と連携し、リハビリテーションの視点で北部圏域在宅医療介護連携推進を図る

### 【研修テーマ】

実績なし

### 【広域主催の主な研修内容】

実績なし

### 【地域での連携状況】

- 1) 地域ケア会議助言者派遣調整（宇佐市、豊後高田市）
- 2) 地域ケア推進会議（宇佐市）実施件数：1回
- 3) 地域ケア会議助言者派遣（宇佐市）実施件数：15回、（豊後高田市）実施件数：5回
- 4) 一般市民介護予防教室 講師派遣（宇佐市、豊後高田市）実施件数：8回
- 5) 市民向け研修会、従事者向け研修会等 講師派遣 実施件数：1回
- 6) 宇佐市在宅医療・介護連携推進会議参加 実施件数：4回
- 7) 介護予防・日常生活支援総合事業 人材派遣調整（宇佐市）  
～元気アップ訪問事業 実施件数：12回

### 【圏域での災害支援の協力体制】

広域支援センター内 BCP 計画作成に基づく情報収集を実施

### 【今後の課題】

新型コロナの社会情勢における連携のあり方を構築していく



# 県内地域リハビリテーション専門職能団体 (拡大運営会議構成団体) 活動報告

<記載項目>

①会の現状

②地域リハ関連の活動・取り組み

③地域リハ活動における課題・今後の展開



# 一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会



会長  
脇坂 健史

## I. 協会の現況

<正会員数> 276名（令和3年3月31日時点） 賛助会員 10団体

<執行部> 会長 副会長 常任理事 理事 計15名

### <研修部>

#### 1. 初任者研修

実務経験が3年未満のソーシャルワーカーを対象に、医療機関で働く相談援助専門職として関わりの深い医学知識について学ぶと共に、アセスメントや「家族」の理解を深める基礎的及び標準的な能力を習得することを目的に実施した。

開催日：

令和3年1月16日（土）	14：00～16：00	参加人数	14名
令和3年1月30日（土）	14：00～16：00	参加人数	16名
令和3年2月13日（土）	15：00～16：00	参加人数	13名
令和3年2月25日（木）	19：00～20：00	参加人数	17名
令和3年3月4日（木）	19：00～20：00	参加人数	16名
令和3年3月13日（土）	14：00～16：00	参加人数	12名
令和3年3月17日（水）	19：00～20：00	参加人数	14名

開催方法：Zoom（対面）

#### 2. 中堅者研修

新型コロナウイルス感染拡大の状況から今年度は調整がつかず中止した。

#### 3. リーダーシップ研修

実務経験10年以上または所属機関でリーダー・管理業務を行っているソーシャルワーカーを対象とし、チームマネジメント能力の取得や、地域・他職種に対する発信力向上のための研修を行うことを目的に、「MSW実践の言語化～リーダーとして研究発表を学び、後進育成に活用しよう～」というテーマで研修会を開催した。昨年度新型コロナウイルス感染拡大のため延期したが、今年度はZoomを使用し研修を開催した。

日時：令和2年12月19日（土） 参加人数 21名

### <ネットワーク推進部>

#### 1. 地区コミュニケーション会議実施（通称 地区コミ会議）

地区：西部地区、北部地区

方法：Zoom形式にて開催

<学術部>

I. 学術研究大会

開催日：令和3年3月21日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

方 法：対面、Zoom のハイブリッド形式にて開催

<広報部>

- ・ ホームページの更新) Facebook の運用と管理) ・ メールマガジンの普及活動と情報発信 ・ ・
- ・ 広報誌の発行 ・ 啓発活動

<特命班 (VOICE) >

MSW 配置調査の実施（2年に1回）

会員向けのアンケート実施（満足度調査）

II. 地域リハ関連の活動・取り組み（下記内容に伴う会議について省略）

大分県地域リハビリテーション研究会／大分県保健医療団体協議会／大分市在宅医療・介護連携会議／大分県医療計画策定協議会／大分県病院学会／大分県高次機能障がい者相談支援体制連携調整委員会／大分市慢性疾病児童等地域支援協議会

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

医療と介護の連携をはじめ、地域リハビリテーション、地域包括ケア推進における地域連携において医療ソーシャルワーカーが求められている役割は大きい。当協会においては個人を支援するうえで最も重要となる個人の価値を尊重し、自己決定における支援を進める視点を持ち、地域生活の実現に向けた支援を進めていくソーシャルワーカーの育成に寄与し続けることで、地域福祉向上の一端を担っていきたいと考えています。また、コロナ渦にて対面での研修会などが難しい現状ではあるが、Zoom 等を活用しながら、新たな取り組みを行っていきたい。

# 公益社団法人 大分県栄養士会



会長  
土谷 洋子

## I. 会の現状

1. 栄養士会は管理栄養士・栄養士の資格を有し、7つの職域分野と勤務先住所による7つの支部にわかれ専門職として活躍しています。毎年、栄養の日(8月4日)・栄養週間(8月1日～8月7日)と定め「栄養の大切さ」を理解していただくためにイベントを開催していますが、今年度はコロナ禍にて中止と致しました。

会員数 823名(令和3年3月31日現在)

職域分野(7)	支 部(7)
(1) 学校健康教育 54名	大 分(大分市・由布市)
(2) 公衆衛生 66名	別 府(別府市)
(3) 教育・研究 27名	東 部(日出・国東・杵築)
(4) 勤労者支援 13名	北 部(宇佐・中津・豊後高田)
(5) 地域活動 187名	豊 肥(竹田・豊後大野)
(6) 医 療 299名	南 部(佐伯・臼杵・津久見)
(7) 福 祉 177名	西 部(日田・玖珠)

2. 「県民の健康維持増進に貢献する」を目的に、生涯教育や7つの職域分野ごとの研修会を毎年開催し、資質・技術の向上を目指しています。生涯教育については、年間15回の開催を計画していましたが中止とし、講師先生方の資料から講演集を作成し配布しました。
3. 事業については、総務部・事業部・栄養ケア・ステーション部・広報部に理事を配置し社会のニーズに合わせた活動を行っています。

## II. 地域リハ関連の活動・取組

1. 大分県リハ職等スキルアップ研修会(地域ケア会議アドバイザー強化研修)

月 日	演 題	参加人数
令和2年10月3日(土)	・大分県における高齢者の現状 ・多職種で知っておきたいオーラルフレイルの予防	71
令和2年10月24日(日)	・知識をまとめて伝える力をつける ・管理栄養士のアドバイスについて事例をとおしての意見交換会	71
令和2年11月14日(土)	・通所介護・訪問看護の栄養課題の実際 ・地域ケア会議栄養マニュアルの活用	75
令和3年1月23日(土)	・超高齢化に伴う管理栄養士・栄養士が直面する地域課題と今後の方向性 ・模擬ケア会議後の多職種意見交換会	43

## 2. 県外への研修支援

- ・地域包括ケア会議における管理栄養士・栄養士の役割について  
和歌山県紀の川市の2施設への講演、香川県栄養士会への資料提供

## 3. 関係会議・研修会運営等への出席

- ①大分地域リハビリテーション研究会運営部会
- ②大分地域リハビリテーション研究会役員会
- ③おおいた食のリハビリテーション研究会担当者会議
- ④大分県保健医療団体協議会（11団体）・第20回げんきフェア（11月11日）中止
- ⑤大分県社会福祉介護研修センターへの協力

## III. 人材派遣

### 1. 地域ケア会議多職種助言者派遣事業

派遣市町村 17市町村 回数 453回 担当管理栄養士 79名

### 2. 大分県後期高齢者医療広域連合訪問栄養相談事業

派遣市町村 17市町村 相談人数 396名 相談回数 927回 担当管理栄養士 50名

### 3. 各市町村介護支援事業への協力（講義、講話、調理実習等）

### 4. 後期高齢者医療宇佐圏域、北部圏域研修会への協力（講義、講話）

## IV. 地域リハ活動における課題

1. 医療と介護との連携による在宅支援
2. 地域ケア会議での栄養ケア・マネジメントに対する理解
3. 専門職としてのスキルアップ、管理栄養士の視点の統一
4. 認知症に対する理解
5. 管理栄養士・栄養士の人材確保

## V. 地域リハ活動における今後の展開

### 1. 栄養ケア・ステーション事業の充実

#### ①在宅訪問栄養指導のレベルアップ

高齢者の栄養改善は、食生活だけではなく生活全般を見る必要があることを痛感しています。  
医師・歯科医師・薬剤師・ヘルパー・介護支援専門員等と連携を図りながら対応することで、介護予防と疾病の重症化予防にも繋がる訪問栄養相談の実現を計りたいと思っています。

#### ②電話無料相談事業の充実

乳幼児・妊産婦・障がい者（児）・若い世代男女に関する食生活全般

#### ③高齢者サロンの充実

### 2. 会員に対するスキルアップ研修会の実施

### 3. 県民の公衆衛生に関する各事業に参加協力

# NPO 法人 大分県介護支援専門員協会



理事長  
工 藤 修 一

## 1 はじめに

特定非営利活動法人大分県介護支援専門員協会は、「介護保険制度が利用者主体の制度として確立されるよう、専門的知識及び技能を研鑽し、介護支援専門員の資質及び社会的地位の向上に努めることにより、公正・中立なケアマネジメントの実現を目指し、県民の健康と福祉の向上に寄与すること」を目的として、平成18年2月に設立された団体です。現在の会員数は約1,000名です。

## 基本方針

- 1) 介護支援専門員の専門的資質及び職業倫理の向上
- 2) 介護支援専門員の自主的、自立的職能団体の確立のための研修会などの開催
- 3) 各地域の介護支援専門員協会が行う自主的な活動を支援
- 4) 介護支援専門員の社会的地位の確立
- 5) 介護保険の円滑な実施とサービスの向上に寄与すること

## 2 地域リハ活動について

### (1) 協会の特性

各専門職団体と本協会の最大の違いは、「様々な基礎資格保持者の集合体」であることです。結果として、恒常的に異職種間での意見交換や連携活動が行われています。つまり、介護支援専門員協会は、活動のすべてが地域リハ活動ととらえることも可能です。

### (2) 介護予防活動

「元気に長生き」というのは、国民多くの願いと思います。大分県でも介護予防が積極的に推進され、各ケアマネもこれに寄与する努力を続けています。一方で、一部のケアマネもそうですが、行政なども含めて介護予防活動の効果について、大きな誤解があると認識しています。

具体的には、「介護予防によりコストが抑制される」という「幻想」です。医療経済学においてこのことは完全に否定されており、それどころか、「予防活動はコスト上昇を招く」というのが通説です。より正確には、「短期的には確かに抑制されるが、長期的（＝生涯コスト）には増加する」というものです。

理由は、①「予防」という新たなコストが生じる、②永遠の予防はできない（予防活動はコストの先送りに過ぎない）という大きくふたつです。予防活動自体は一切否定しませんが、「生涯コストの増加」を共通認識したうえで取り組まないと、どこかで壁にぶち当たる恐れがあると考えます。

(3) 関係団体との連携事業

主 催	名 称
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	大分県高齢者福祉施策推進協議会
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	介護支援専門員法定研修講師連絡会議
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	大分県介護予防市町村支援委員会
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	大分県医療・介護連携推進協議会
大分県福祉保健部 医療政策課	大分県在宅医療連携委員会
大分県福祉保健部 健康づくり支援課	大分県難病医療連絡協議会
大分県福祉保健部 障害福祉課	大分県高次脳機能障がい者相談支援体制連携調整委員会
大分県医師会（大分県地域保健協議会）	大分県地域保健協議会 高齢者介護小委員会
大分大学大学院	大分大学福祉科学講座実行委員会
大分県リハビリテーション支援センター	運営委員会
大分県リハビリテーション支援センター	大分災害リハビリテーション推進協議会
大分県地域リハビリテーション研究会	大分県地域リハビリテーション研修会
大分県社会福祉介護研修センター	運営委員会
大分県社会福祉介護研修センター	福祉用具部会
大分県社会福祉介護研修センター	日常生活自立支援事業関係連絡会
大分県小児科医会	おおいた医療的ケア児等支援関連施設連絡会

介護支援専門員は地域の利用者の自立支援のため日常生活全般における総合的な支援をする“対人援助専門職”であります。それ故に介護支援専門員の職能団体としての組織力をより強化し、県内の介護支援専門員の一人ひとりの意見集約に努め、その役割を十分に担える環境を整備すること、そして、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントに対して高い評価が得られるよう積極的に活動を行うことが非常に重要であると考えられます。今後も行政及び各職能団体の皆様のご理解とご協力を賜り協会運営に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

# 一般社団法人 大分県介護福祉士会



会長  
田 中 努

## I. 協会の現状

会員数 1,061 名 (令和3年4月28日現在)

組 織	支 部
○専門研修部 ファーストステップ研修 基本研修 実習指導者講習会 技能実習指導員講習 行動援護従業者養成講習会	日出(別府市、日出町、杵築市、国東市、豊後高田市) 大分(大分市) 由布(由布市) 臼杵(臼杵市、津久見市)
○学術研究部 通年研修	佐伯(佐伯)
○研 修 部 主催研修会の企画立案・実施	豊後大野(豊後大野市、竹田市)
○教育研究部・講師養成事業 福祉の心醸成事業 出前講座 講師養成・講師派遣	宇佐(宇佐市、中津市) 日田(玖珠町、日田市)
○調 査 部 会員のニーズの調査等	
○広 報 部 広報誌「豊後梅」発行等	
○渉外事業部	

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 主催研修

- 第1回研修会 令和2年11月21日(土) テーマ:「災害ボランティアの実際」 参加者 15 名
- 通年研修 令和3年2月10日(水)・3月26日(金) 参加者合計 7 名
- 技能実習指導員講習 令和2年10月16日(金) 参加者 32 名
- 行動援護従事者養成研修 令和3年1月12日(土)・13日(日)・2月13日(土)・14日(日) 参加者 5 名
- 福祉・介護人材確保助成県事業 出前講座(県下福祉系高校への介護技術講座) 実施 9 回
  - ・大分県立大分南高等学校 2 回 令和2年11月11日(水)・13日(金)
  - ・大分県立佐伯豊南高等学校 3 回 令和2年12月11日(金)・令和3年3月12日(金) 午前と午後
  - ・日本文理高等学校 1 回 令和3年3月11日(木)
  - ・大分東明高等学校 2 回 令和2年12月16日(水)・令和3年2月10日(水)
  - ・昭和学園高等学校 1 回 令和2年11月26日(木)
- 大分県社会福祉介護研修センター協力事業「子どものための福祉講座」年3回 講師人数 12 名
- 大分市社会福祉協議会協力事業「福祉講座」令和2年10月6日(火) 講師人数 2 名
- 宇佐市社会福祉協議会協力事業「出前授業」令和2年11月～令和2年12月5回 講師人数 5 名

○実習指導者養成講習会の実施

令和3年2月25日(木)・26日(金)・3月20日(土)・21日(日)

受講者 19名

○介護福祉士国家模擬試験問題頒布実施 令和2年11月28日(土) 発送

受験者 21名

大分県地域リハビリテーション支援センター関連

○大分県地域リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会

- ・第17回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会 令和2年10月17日(土)  
テーマ:新型コロナウイルスにどう対応するか Web配信

各種委員会への委員派遣

- ・大分県地域リハビリテーション研究会・大分県排尿リハビリテーションケア研究会
- ・大分県契約締結審査委員会・大分県ボランティアネットワーク委員会
- ・大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会・大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会
- ・大分県老人福祉計画策定委員会・大分県社会福祉介護研修センター運営委員会
- ・大分県社会福祉介護研修センター福祉用具専門部会・介護認定審査会・大分県医療適正化推進協議会委員
- ・大分県国民健康保険運営協議会委員・大分県介護予防市町村支援委員会・大分県認知症施策推進委員会
- ・大分県福祉人材確保推進協議会・福祉人材確保推進会議・大分県地域包括ケア研究会
- ・脳卒中懇話会世話人会・豊後大野市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会
- ・大分県介護ロボット普及促進協議会・大分県作業療法協会
- ・おおいた食のリハビリテーション研究会・大分市在宅医療、介護連携会議委員会
- ・「人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業(介護分野)」に係わる啓発実践委員会
- ・教育過程編成委員会・日田市在宅医療連携会議委員会・おおいた介護ロボット等導入促進協議会
- ・大分県高齢者福祉施策推進協議会・大分県社協第四次中長期活動計画「だいふくプラン2019(仮称)策定委員」

### III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

障害のある人や高齢者及びその家族が、住み慣れた地域で、そこに住む人々と共に、安心・安全に、いきいきとした生活が送れるように、これからの介護予防は、機能回復訓練などを通じた高齢者本人への取組だけではなく、生活環境の調整や、生きがい・役割をもって生活できるような居場所・出番のある地域づくりなど、高齢者本人を取り巻く環境への取組も含めた、様々な取組が重要となる。このような効果的な取組を実践するため、地域において要介護状態になっても、生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指す必要がある。

私たち介護福祉士は介護の専門職として時代に即した介護ニーズに対応し得るスキルを身につけると共に、これまでと同様に他の関係職種団体との関係を重視し日常から多職種協働の顔の見える関係性の構築のための連携強化を図っていく。

一方、コロナ禍の中で地域での関りが薄れフレイルやMCIの対象者は増加している実感もある。地域の現状分析、把握が不十分な現状がある。

こういった現状の中でできることを模索、取り組み続ける姿勢が必要である。研修会や会議はWebが必須となり、対象者や地域の方との関りもICTの活用なくては適切なサービスが提供できない。ICTの活用ノウハウ、環境整備も含め多職種と連携を持ち、専門性を地域に還元していきたい。



# 公益社団法人 大分県看護協会



会長  
大 戸 朋 子

## I. 大分県看護協会の現状

- 1) 会員数は 10,155 名。(2021 年 3 月末現在)
- 2) 看護職の資質向上のための教育・研修、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開など 8 つの事業を行うことにより、時代の変化と人々のニーズにあった安全で質の高い看護の提供をめざし、地域社会に貢献している。
- 3) 事業は、職能委員会(4) 常任委員会(10)、特別委員会(5)の 19 委員会および県下を下記 11 の地域に分けた地区活動により展開している。
  - ①国東 ②別府・杵築・日出 ③大分中央 ④大分東部 ⑤大分西部⑥臼杵・津久見 ⑦由布
  - ⑧豊後大野・竹田 ⑨中津・宇佐・豊後高田⑩佐伯 ⑪日田・九重・玖珠地区での活動

\* 地区活動：施設代表者会議等看護の連携推進事業、地区研修事業（DVD の教材を提供）、看護の日事業等の地区活動事業を実施。

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### <教育・研修事業>

協会内で行う主な事業として、看護職の資質向上のための研修事業があり、2020 年度は、年間 102 研修・延 255 日実施し、受講者数は延 9,807 人。

### 1) リハビリテーション関連研修の実施状況

主なりハビリ関連研修

於) 大分県看護研修会館

	研 修 名	開催日・受講者数(人)
1	最新の脳血管障害患者の治療と看護	令和 3 年 1 月 24 日(土) (17)
2	在宅の看護実践能力を高める講習会 ～在宅看護に必要な最新の排痰ケアと呼吸理学療法～	令和 2 年 10 月 17 日(土) (14)
3	摂食嚥下障害患者の看護 ～口から食べることをサポートする看護実践～	中 止
4	摂食嚥下障害患者の看護<中津・宇佐・豊後高田地区へ出張研修> ～口から食べることをサポートする看護実践～	中 止
5	摂食嚥下障害患者の看護<杵築・区 B に東地区へ出張研修> ～口から食べることをサポートする看護実践～	中 止
	計	2 回 (31)

### <県民の健康づくりの活動>

#### 1) げんき教室

毎月第 4 水曜日 14:00～15:30 計 1 回 (COVID-19 感染防止対策のため、11 回中止)

会場：大分県看護研修会館 対象：中・高齢者等 (一般) 参加者 延 19 人

#### 2) 「まちの保健室」開催

各会場で血圧・体脂肪測定・血管年齢測定・骨密度測定・健康相談等を実施

①すこやか家族博覧会 於) コンパルホール 1 日 中止

- ②大分市おおいた食と暮らしの祭典 於) ガレリア竹町 1日間 中止
  - ③「人とみどりふれあいいち」於) 平和市民公園 3日間 中止
  - ④大分県立図書館 2日間 中止
  - ⑤「げんきフェア」於) 大分県社会福祉介護研修センター 1日 中止
  - ⑥あすぴあフェスタ 於) 大分県身体障害者福祉センター 1日 中止
- 3) 2020年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)  
 テーマ:「看護の心をナイチンゲールに学ぶ」  
 日 時:令和2年10月24日(土) 9:30～11:30 参加者 40人  
 ・「ふれあい看護体験」 中止

<会議等>

- 1) 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会  
 期 日:令和2年10月17日(土)  
 テーマ:新型コロナウイルスにどう対応するのか  
 参加者:当協会より2名 Webにより参加
- 2) 大分県地域リハビリテーション研究会役員会  
 期 日:令和2年12月、開催方法:書面会議

### Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

令和3年度 地域リハ関連の活動・取り組み

<教育・研修事業>

- 1) リハビリテーション関連研修
  - ①リハビリ関連研修を継続する。在宅ケア領域の看護ケア能力均てん化推進事業として、大分県看護研修会館で実施する研修と同じ内容の研修を地域に出張し行い、看護職の資質向上に取り組む。今年度は由布・玖珠・九重地域と臼杵・津久見・佐伯地域を予定している。
  - ②在宅での療養者のための訪問看護等に関する事業を強化  
 県民が最期まで安心して在宅療養が送れるようにリハビリを含む質の高い訪問看護サービスや地域包括ケアが実施できるように取り組む。また、教育実習機関として、学生の訪問看護実習を受け入れる。

<県民の健康づくりの活動> (新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じ、可能な限り実施)

- 1) げんき教室 10回開催
- 2) 「まちの保健室」開催 6つのイベントにおいて開催予定
  - ①すこやか家族博覧会 ②おおいた食と暮らしの祭典 ③人とみどりふれあいいち
  - ④大分県立図書館 ⑤げんきフェア ⑥あすぴあフェスタ
- 3) 「2021年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)  
 日 時:令和3年5月9日(日)にハイブリッド形式で開催  
 特別講演:テーマは「死にゆく人の心に寄り添う」～生き方と逝き方を考える～  
 講 師:玉置妙憂氏(僧侶・看護師)  
 スティールパンの演奏

<会議等>

- 1) 大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議
- 2) 大分県地域リハビリテーション研究会
- 3) 大分県リハビリテーション支援センター・地域リハビリテーション研究会合同研修会

<災害・新興感染症等への健康危機管理体制の強化>

- 1) 新型コロナウイルス感染症の対応
- 2) 災害時受援体制の構築にむけたとりくみ

# 公益社団法人 大分県言語聴覚士協会



会長  
木村 暢夫

## I. 協会の現状

- 1) 会員数及び施設数(令和3年3月31日現在)  
会員数：336名 ※約7割が大分、別府に集中している  
施設数：106施設
- 2) 構成：事務局(総務部、財務部、災害対策部)  
社会局(生涯学習部、広報部、福利厚生部)  
事業局(医療保険部、介護保険部、障害保健福祉部、地域活動推進部)

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

- 1) 言語障がい友の会「なし会」関連
  - ①第19回なし会総会  
※新型コロナウイルス感染拡大予防の為中止
  - ②なし会忘年会  
※新型コロナウイルス感染拡大予防の為中止
  - ③各ブロック会への参加  
※新型コロナウイルス感染症拡大予防の為活動自粛
  - ④啓蒙活動  
※新型コロナウイルス感染拡大予防の為中止
  - ⑤なし会の運営  
内容：今年度は活動自粛に伴い更新なし
- 2) 失語症会話サポーター養成講座  
日時：令和3年2月27日(土)  
場所：オンライン開催  
参加者：介護支援専門員他63名
- 3) げんきフェアへの参加  
第21回げんきフェア  
※新型コロナウイルス感染拡大予防の為中止
- 4) 大分県地域リハビリテーション関連
  - ①第17回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会  
日時：令和2年10月17日(土) 14:00～16:30  
場所：J:COM ホルトホール大分 大ホール(ハイブリッド研修)  
内容：テーマ「新型コロナウイルスにどう対応するか」(講演、報告)
- 5) 大分JRAT関連  
日時：令和2年9月26日(土)  
場所：大分県消費生活男女共同参画プラザ アイネス大会議室  
内容：研修会、代表者オンライン会議

6) おおいた食のリハビリテーション研究会

①第 28 回研修会（会場およびオンライン）

日 時：令和 3 年 3 月 7 日（日）9：45～12：00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター 大ホール

内 容：「多職種の知恵を活かす『フレイル予防』の地域づくり戦略

～今、知っておきたいフレイルのこと～」

7) 5 歳児発達相談会・巡回相談への派遣

- ・中津市 ～ 5 歳児発達相談会：4 回
- ・豊後高田市 ～ 乳幼児精密検査：4 回
- ・杵築市 ～ 5 歳児発達相談会、巡回相談会：7 回
- ・日田市 ～ 5 歳児発達相談会：3 回
- ・由布市 ～ 巡回相談、ことばの発達相談：6 回
- ・別府市 ～ 5 歳児発達相談会：3 回

8) リハ関連団体及び県・行政等との連携

- ①大分 JRAT 関連会議参加 ～ 参加回数 2 回
- ②令和 2 年度 介護予防職員育成推進事業研修 サービス計画担当者研修 講師派遣
- ③令和 2 年度 介護予防職員育成推進事業研修 介護職員現任者研修 講師派遣
- ④令和 2 年度 大分市パワーアップ教室 講師派遣
- ⑤令和 2 年度 大分県リハビリテーション専門職団体協議会研修会
  - ・大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修会
  - ・大分県地域ケア会議アドバイザー強化現任者研修会
- ⑥令和 2 年度 竹田市総合事業等実践力向上研修会講師派遣
- ⑦地域ケア会議助言派遣 派遣先：中津市、宇佐市、国東市、竹田市、佐伯市、杵築市
- ⑧大分県なおみ園子どもデイサービスダンボ
- ⑨令和 2 年度「おおいたアクティブシニア養成講座」
- ⑩介護予防ボランティア研修、サロンリーダー研修
- ⑪第 2 回地域ケア会議コーディネーター養成研修
- ⑫大分県地域包括ケア広域支援員派遣事業
- ⑬令和 2 年度 第 3 回講演会（公開介護教室）
- ⑭大分県後期高齢者医療広域連合 歯科口腔相談事業

### III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平素より、当会の活動に対してご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和 2 年度は思いもよらず COVID - 19 の感染拡大により、当会の運営も大きな影響を受けました。感染リスクと向き合いながらの事業遂行において、イベントや相談会を通じた啓発・広報活動、言語障がい者当事者団体及び家族会への支援活動に関しては、やむなく中止とした事業もありました。その中において、オンラインを活用した会議や研修会の開催など、次年度以降につながる新しい運営様式を見いだせたと思っております

今後も、地域のニーズや行政機関からの要請に応えることができる専門職能団体として、大分県の地域リハビリテーション活動に貢献していきたいと考えます。

COVID - 19 終息の見通しは不透明ですが、大分県リハビリテーション支援センター・関連団体の皆様と協力し、県民の皆様の健康と安全を第一に考慮して、必要な事業を一つずつ進めてまいります。引き続き、当会活動へのご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

# 一般社団法人 大分県公認心理師協会 (大分県臨床心理士会)



会長  
小 野 貴美子

## 1. 会の現状

正会員 260 名 (令和3年3月末 現在)

〔部門〕 保健医療、司法犯罪、産業組織、学校、福祉、災害支援、倫理、渉外、研修、事務局

## 2. 地域リハ活動の報告

### (1) 会議への参加

- ・ 第17回拡大運営会議 中止
- ・ 大分県地域リハビリテーション研究会 役員会議・運営会議 中止

### (2) 研修会の参加・発表

- ・ 令和2年度 第10回 日本臨床心理士会団体会員 医療保健領域担当者研修会  
日時：令和3年2月28日(日) 13:30～16:30 Web開催 北吉直子参加

### (3) 自主研修会の開催

- ・ 令和2年度 大分保健医療心理研究会  
テーマ：with コロナの生活を支える心理臨床を考える  
第1部 意見交換会  
テーマ：「コロナによって変わったこと、変わらないこと、変わってはいけないこと  
～保健医療領域で働いて考えたこと～」  
日 時：令和2年8月21日(金) 19:00～21:00 Zoomによるオンライン  
12名参加  
第2部 事例検討会  
テーマ：「コロナによって影響を受けた事例について」 中止
- ・ 大分リハビリテーション心理研究会 年12回開催

## 3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

令和元年度より国家資格である「公認心理師」が誕生いたしました。それに伴い当協会は、「一般社団法人 大分県公認心理師協会」として活動を開始しています。会員は公認心理師と臨床心理士とで構成される団体となり、あらたに公認心理師の資格を得た会員も加わってきています。今後、より会員の層を厚くし、地域で貢献できる活動を模索検討していきたいと考えています。皆様のお知り合いで公認心理師資格を取られた方がいらっしゃいましたら、当会をご紹介いただければ幸いです。

当協会会員は、病や障がいを抱える人々に対してこころのケアを担います。地域リハ活動においては、特に生活を視野に入れた関わり（心理的支援、家族支援、地域医療や在宅に携わるスタッフへのメンタルサポートなど）を強化し地域医療・福祉サービスを担う一員となれるよう、また「地域包括ケアシステム」や「アウトリーチ活動」などにチームの一員として参加し地域リハビリテーション活動に参入していけるよう活動していく所存です。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止によるストレスはかなり大きく、今後県民に対して幅広く協会として寄与していける活動を考え、実施していきます。令和2年度には、大分県の事業であります SNS を活用した心の相談事業を開始しました。

令和3年度もより一層他職種との協働と連携を図り、地域で必要とされる職種を目指して努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

# 公益社団法人 大分県作業療法協会



会長  
高 森 聖 人

## I. 協会の現状（令和3年3月31日現在）

正会員数	1,130名（うち自宅会員72名、休会者31名）
正会員所属施設	239施設
賛助会員	5団体
有識者理事	6名
支部	9支部（大分中央，大分東，大分西，大分南，東部，西部，南部，北部，豊肥）

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 啓発・普及事業

- 作業療法一日体験 令和2年7～8月  
参加者：県内高校生130名
- 作業療法出張授業
  - 中津南高等学校 令和2年11月18日（水）参加者：15名
  - 杵築高等学校 令和2年11月27日（金）参加者：18名
- 作業療法公開講座（YouTubeライブ配信） 令和3年1月18日（土）参加者：1,553名
- 作業療法フェスタ・作業療法ミニフェスタ 中止

### 研修会等

- 第24回大分県作業療法学会（オンライン） 参加者：139名  
テーマ『継往開来～これまで、これからの作業療法～』
- 制度対策研修会（全2回） 参加者：延べ55名
- 作業療法実践セミナー（全2回） 参加者：延べ38名
- 生活行為向上マネジメント基礎研修（全2回） 参加者：延べ20名
- 生活行為向上マネジメント実践者研修（全3回） 参加者：延べ27名
- 生活行為向上マネジメントアドバンス研修 参加者：15名
- 発達支援事業に係る人材育成研修会 基礎編（全4回） 参加者：延べ75名
- 発達支援事業に係る人材育成研修会 応用編（全2回） 参加者：延べ26名
- 認知症アップデート研修会（全2回） 参加者：延べ43名
- 地域包括ケアシステムにおけるスキルアップ研修（全2回） 参加者：延べ25名
- 人材育成道場 地域ケア会議助言者編 参加者：5名
- 地域ケア会議新規助言者研修会 参加者：6名

- 地域ケア会議助言者情報交換会 参加者：8名
- 支部事例検討会 (全5回) 参加者：137名
- 支部研修会 (全2回) 参加者：52名
- 大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修 (全8回)・現任者研修 (全6回)  
(主催：大分県、大分県リハビリテーション専門職団体協議会)
- 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 (全2回) 参加者：延べ96名  
(主催：日本作業療法士協会・日本理学療法士協会・全国リハビリテーション学校協会)

**人材派遣等**

- 市町村の地域ケア会議等への助言者及び広域支援員の推薦・派遣
  - 大分県地域ケア会議他職種派遣事業に係る助言者の推薦・派遣  
派遣先：16市町 | 派遣者：54名 | 派遣回数：207回
  - 大分県地域包括ケア広域支援員の推薦・派遣  
推薦者：8名 | 派遣先：4市 | 派遣者：1名 | 派遣回数：4回
- 市町村等の介護認定審査会委員の推薦 推薦先：6市 | 推薦者：18名
- 日田市障がい者計画策定委員会への人材派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：1回
- 日田市障害者介護給付費等認定審査会委員の推薦 推薦者：1名 | 派遣回数：6回
- 豊後高田市乳幼児精密検診事業への人材派遣 派遣者：2名 | 派遣回数：6回
- 杵築市母子保健事業への人材派遣 派遣者：2名 | 派遣回数：7回
- 由布市親子教室（運動編）への人材派遣 派遣者：3名 | 派遣回数：3回
- 別府市こどもへの発達相談会への人材派遣 派遣者：2名 | 派遣回数：3回
- 豊後大野市放課後児童クラブ巡回支援事業への人材派遣 派遣者：2名 | 派遣回数：5回
- 竹田市合理的配慮推進事業への人材派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：1回
- 豊後大野市認知症初期集中支援チームへの人材派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：12回
- 大分県高齢者福祉施策推進協議会への人材派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：3回
- 大分県医療・介護連携推進協議会への人材派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：2回
- 地域ケア会議コーディネーター養成研修への講師派遣 派遣者：2名 | 派遣回数：2回
- 住民参画型介護予防推進検討委員会への人材派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：1回
- 大分市自立支援型ケアプラン相談会への人材派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：1回
- 別府市新規介護予防支援従事者研修会への講師派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：1回
- ICTを利用した自立支援型システム構築事業への人材派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：1回
- おおいた心と体の職場環境改善アドバイザー事業への人材派遣 派遣者：1名 | 派遣回数：3回
- 各種研修会等への講師等派遣
  - 大分県内 派遣先：21事業 | 派遣回数：65回
  - 大分県外 派遣先：なし
- 大分 JRAT の災害リハビリテーション支援活動への協力



## その他

### ● 広報誌「伝 DEN」の発行

○ No.26 テーマ「地域生活を支える作業療法～総合事業編～」 令和2年9月25日 2,700部

### ● 関連諸団体との連携

○ 関連諸団体の理事，監事，委員，世話人等

○ 各種委員会・会議等への出席

○ 事業企画・運営への協力等

## Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行拡大により、高校生を対象とした「作業療法一日体験」が申込者数の半分の受け入れに留まり、また県内各地域のイベントが軒並み中止になったことにより「作業療法ミニフェスタ」が開催できなくなるなど、啓発・普及事業は多大な影響を受けた。今後、高校生や一般市民に対して情報通信技術（ICT）等を活用してより積極的に情報を発信するなどして、様々な制約下における新たな事業展開を模索する必要がある。

研修会等は、Web 会議ツール「Zoom」を活用し概ね実施できているが、通信環境の未整備等の問題から参加者が限定されるなどの課題も生じており、今後、継続して地域リハ活動で求められる人材を確保、育成し、その質を担保するために、COVID-19 の感染状況を踏まえた上で、時期や内容、規模によって開催方法を変更するなど柔軟な対応を図っていく。

# 一般社団法人 大分県歯科医師会



会長  
脇田 晴彦

## 1. 会の現状

会員数：614名（令和3年4月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当している。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### \* 介護保険対応歯科保健研修会の Web 開催（令和2年12月12日（土））

介護の中での歯科保健を視野に入れた講演会を開催している。令和2年度の研修会は、「訪問診療のすゝめ」として①「訪問歯科診療の準備」を大分県歯科医師会 地域福祉担当理事の森崎重規先生に、②「訪問歯科診療の実際」を大分県歯科医師会 地域福祉委員会 副委員長の内野辰宏先生に、③「訪問歯科診療の保険請求」を大分県歯科医師会 社会保険委員会委員の辛嶋哲先生にご講演いただいた。

### \* 障がい者歯科保健研修会の Web 開催（令和3年1月23日（土））

令和2年度の研修会は、「障がい者歯科保健研修会オンラインセミナー」として、第一部「自閉症患者への対応」を大分県口腔保健センター歯科医師の天野郁子先生に、第二部「第37回日本障がい者歯科学会発表講演「骨盤内未分化肉腫の既往がある重度歯科恐怖症患者の一例」」を大分県口腔保健センター 歯科衛生士の山下里織氏に、また「麻酔についての解説」を大分県口腔保健センター 非常勤歯科医師の永井悠介先生にご講演いただいた。第三部では「口腔保健センターでの3年間を振り返る」として大分県歯科医師会 地域福祉担当理事の陶山直昭先生をコーディネーターとし、大分県口腔保健センター職員による座談会を行った。

### \* 歯科医師認知症対応力向上研修会の Web 開催（令和3年3月12日（金））

「歯科医師認知症対応力向上研修」として大分県医師会 常任理事の井上雅公先生に、「どうしよう、こうしよう、認知症」として歯科医院丸尾崎 歯科医師の尾崎由衛先生に、「認知症の生活障害と本人・家族の思い」として認知症の人と家族の会 大分県支部世話人代表の中野洋子氏にご講演をいただいた。

### \* 障がい児者施設歯科健診事業（令和2年10月～令和3年3月）

障がい児者に対する歯科健診の機会を確保し、あわせて歯科保健指導を行うことにより障がい児者の健康の保持増進に資することを目的として、令和2年度は障がい者施設6件を訪問した。

\* 例年開催している「老人保健施設訪問歯科保健事業」、「高齢者のよい歯のコンクール」、また昨年度より開始した「障がい者歯科協力医育成事業」はコロナ禍の状況で実施不能と判断した。今後、感染が終息したら、これらの事業を再開することを検討しているが現時点での再開予定は全く未定となっている。

\* 各種委員会、協議会、研修会への参加

- ・ 大分県リハビリテーション協議会
- ・ 大分県介護予防・地域づくり推進部会 等

### 3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

- ① 現在コロナ禍のため実施を見合わせているが、状況が落ち着いたら大分県口腔保健センターにて障がい者歯科地域協力医育成事業を再開し、障がい者歯科高次医療機関である大分県口腔保健センターと地域歯科医院との連携を整備する。オンライン研修を取り入れるなど、従来のプログラムを大きく修正する必要があると考えている。
- ② 認知症施策では、歯科医師対象の認知症対応力向上研修会を行っている。本県の現状を把握し、多職種との連携強化を図る。
- ③ がん診療拠点病院と地域歯科医院の連携事業は7年目に入った。拠点病院へ歯科介入の有用性をさらに周知頂き、地域歯科医院との連携を強化する。
- ④ 平成29年に大分県と締結した「災害時における被災者の医療救護に関する協定」に基づき、災害時に歯科医師を迅速に派遣し歯科支援活動を行なうと共に、災害コーディネーターを担える人材育成に努めていく。
- ⑤ コロナ禍における在宅歯科医療のガイドラインを提示し、会員への周知徹底を図る。

# 一般社団法人 大分県歯科衛生士会



会長  
有松 ひとみ

- I. 協会の現状 会員数 277名（令和3年3月31日現在）  
 正会員 230名（名誉会員3名を含む） 学生会員 47名  
 3支部 県南地区（佐伯・津久見・臼杵） 豊肥地区（竹田・豊後大野） 日田地区

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### II-1 主催事業

#### 1). 歯科衛生士の生涯研修に関する事業（研修会）

（敬称略）

開催日	テーマ		研修項目-細目	単位	認定更新指定	受講者数		会場
	講師名	所属				(会員)	(会員外)	

#### 大分県地域ケア会議アドバイザー強化研修委託

2020/8/2	「栄養管理とダイエット」								別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ 小会議室31
	唐原 和秀	西別府病院外科部長 九州リンパ浮腫外来センター長 西別府病院栄養サポートチームチェアマン 日本臨床栄養代謝学会 代議員		1			12	4	
2020/10/25	大分県歯科衛生フォーラム 2020 歯科衛生士の明日を拓く～ To learn again 大切な人を衛るために～				○		46	2	
	鎌田 善子	大分赤十字病院 看護師長 感染管理認定看護師		1					
(WEB開催)	薄井 由枝	九州看護福祉大学 口腔保健学科 教授		1					
2020/12/20	「地域包括ケアシステムにおけるオーラルフレイル対策」			1	○	会場	11	5	大分県看護協会
(WEB/会場同時開催)	渡邊 裕	北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室		1		WEB	37	33	
2021/2/28	地域包括ケアの時代に歯科衛生士に期待すること			1		会場	9	1	大分県看護協会
	佐藤 孝臣	(株)ライフリー代表取締役 大分県作業療法協会 副会長		1		WEB	129	4	
(WEB/会場同時開催)	全国地域ケア会議の現状報告								
	小野 淑子	山形県歯科衛生士会 会長							
	吉福 美香	奈良県歯科衛生士会 会長							
	植田 彩子	高知県歯科衛生士会 会長							

#### 大分県委託事業

2020/11/22	コロナ禍における災害対応?もし今、大分県で被災したら貴方はどうしますか					会場	13	3	ホルトホール 大分 408
(WEB/会場同時開催)	太田 秀人	おおた歯科クリニック 院長 福岡県歯科医師会 災害担当		2		WEB	12	1	

### II-2 後援・協力研修会 【抜粋】

- ①大分県地域包括ケア推進大会 令和2年10月25日（木）iichiko 総合文化センター
- ②大分県在宅医療・介護連携全体研修 Web開催
- ③大分県地域リハビリテーション研究会、県リハ支援センター合同研修会 中止

- ④大分地域リハビリテーション研究会研修会 中止
- ⑤第 28 回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 令和 3 年 3 月 7 日（日）WEB 開催
- ⑥大分県保健医療団体協議会（担当会：大分県社会福祉士会）  
大分県介護研修センターまつり＆元気フェア 2020 中止
- ⑦ TOS すこやか家族博覧会 中止

## II-3 講師等派遣【抜粋】

- ①地域包括ケアシステム推進事業（県内・県外）及び 17 市町村地域ケア会議助言者
- ②大分圏域介護予防事業及び口腔機能向上事業
- ③障がい児（者）施設含む県内市町村の母子事業及び地域支援事業
- ④大分県市町村圏域リハ職等派遣事業

## II-4 会議出席【抜粋】

- ①地域リハビリテーション関係 役員会 運営委員会 中止
- ②行政関係（県及び市町村）
 

大分県 8020 運動推進協議会	大分県口腔機能向上栄養専門部会
大分県介護予防市町村支援委員会	各市町村母子保健委員会
大分県介護医療推進協議会	各保健所地域歯科保健検討会 他

## II-5 大分県歯科医師会（協力） 高齢者・障がい者訪問事業 啓発事業

- ①リカバリーセミナー及び復職支援 令和 3 年 2 月 1 日～2 月 6 日 電話＆LINE 相談
- ②歯と口の健康週間行事 中止
- ③いい歯の日キャンペーン 中止

## II-6 大分市内小中学校 歯科保健指導事業

- ① DVD 作成（対象者：小学校 3 年生・5 年生・中学校 1 年生）
- ②小中学校訪問事業 中止

## II-7 ボランティア活動

- ①認知症カフェ関連 大分県歯科衛生士会主導「手をつなごう」（大分市田原）月 1 回程度
- ②西別府病院 口腔ケアボランティア 中止

## III. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

県内で新型コロナウイルス感染者が確認され、1 年以上が過ぎようとしています。その間、他の皆様方と同じく、新しい生活様式への転換が余儀なくされました。試行錯誤での取り組みとなりましたが、早々に Zoom 等のオンラインを導入し、ハイブリッド研修会が日常的に受け入れつつあると感じています。米国の論文において、最も感染リスクの高い職種として『Dental Hygienist』が挙げられていたこともあり、令和 2 年 10 月、県内の歯科衛生士に向けて、感染管理をテーマとした大分県歯科衛生フォーラムを開催いたしました。最前線に対応されている認定看護師と、米国の歯科衛生士免許を持つ講師からのご講演が、その後の研修会や運営に活かされ、本年度を迎えられた気がしております。

今後の使命として、感染対策の一つである口腔健康管理の励行を、地域住民の皆様にお伝えし、県民の健康意識向上に関わりたいと願うばかりです。

# 大分県視能訓練士会



会長  
亀井久典

## 1. 会の現状

昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響を受け感染拡大予防のため、対面での勉強会や研修会、イベントは中止いたしました。しかし、新しい取り組みとして web での勉強会を行う事が出来、これまでに会場まで足を運ぶことができない方々にも勉強会に参加していただく事が出来ました。

予定したような会の成長とは異なるが、このような状況下でも当会が組織として活動できたことは喜ばしく思います。

会員数については、207 名（令和 3 年 4 月 30 日現在）と 2011 年に会を発足以来、毎年わずかながら会員数も増加している。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

〈他団体との共催・後援事業〉

### ・アイフェスタ 2020（中止）

日 時：令和 2 年 11 月 3 日（火・祝）10：00～15：00

場 所：ホルトホール大分

内 容：大分県眼科医会主催、眼に関する団体が集まったイベント

眼の簡易検査コーナーにて眼の検査を実施

館内の案内、誘導の担当

### ・センターまつり&げんきフェア 2020（中止）

日 時：令和 2 年 11 月 8 日（日）10：00～15：00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：眼の健康チェック、パネル展示

〈主催の研修会〉

### ・第 15 回 勉強会

日 時：令和 2 年 6 月 27 日（土）17：00～19：00

場 所：Zoom による Web 勉強会

内 容：

#### （1）講演

「iPhone から始まるロービジョンケア」

柴内 佑一郎 先生（出田眼科病院 視能訓練士）

(2) 講演

「緑内障点眼薬の知っておきたい基礎」

柴田 大輔 先生（出田眼科病院 視能訓練士）

(3) 講演

「眼内レンズを初歩から知ろう」

高橋 慎也 先生（出田眼科病院 視能訓練士）

参加者：91 名

・第 16 回 勉強会

日 時：令和 2 年 11 月 21 日（土）～ 11 月 30 日（月）

場 所：オンデマンド配信

内 容：

(1) 講演

「外来で役立つレンズの理解とチェックポイント」

山中 健一 先生（眼鏡の豊福 眼鏡士）

参加者：42 名

・第 17 回 勉強会（三歳児健診講習会）

日 時：令和 3 年 3 月 27 日（土）～ 4 月 11 日（日）

場 所：オンデマンド配信

内 容：

(1) 講演

「三歳児健康診査 視覚検査における視能訓練士の働き」

蕪 龍大 先生（上天草市立天草総合病院 視能訓練士）

参加者：38 名

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

コロナ禍のため、対面での勉強会や研修会、イベント等、予定していた活動ができない反面、Web による会議や勉強会を行うなど、新しい生活様式に順応した活動を行えたことは評価できると思います。今年度の活動もしばらくの間は Web が中心となりますが、すべての活動を Web 等で対応する事にも限界を感じており、対面でしかできない活動を今後のどのタイミングで行っていくのか、またハイブリット式での対応の模索という事が今後の課題と考えます。十分に社会の状況をふまえながら当会として出来ることを考えて対応していくことが、今後の会のためになると信じ精進していきたいと思っております。また、この新しい生活様式の中で、どの様な形で当会会員が地域に貢献できる場を提供できるか考えていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長  
雨宮 洋子

## 1 会の現状

会員センター 55 センター

- ・地域包括支援センター 51 センター
- ・在宅介護支援センター 1 センター
- ・地域総合相談支援センター 3 センター

## 2 主な活動・取り組み

### (1) 研修会等の開催

#### ① 令和2年度大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会

##### 【大分会場】

期 日 令和2年11月13日(金)

会 場 大分県総合社会福祉会館 4階 大ホール

参 加 38名

##### 【宇佐会場】

期 日 令和2年11月20日(金)

会 場 宇佐文化会館・ウサノピア 小ホール

参 加 10名

内 容 (共通) 講義・演習 I

「高齢者向きの運動プログラム～リズムステップ～」

講師：一般社団法人スポーツリズムトレーニング協会

公認リズムステップインストラクター 吉永信昭 氏

講義・演習 II

「楽しくからだを動かし認知機能低下予防シナプソロジー」

講師：スタジオ魔法つかい 代表 小田茂美 氏

(からだこころ健幸協会会長)

### (2) ブロック活動

各市町村ブロック組織の活動支援並びに組織強化を目的として、1センターあたり5,000円の活動費を助成。

## 3 情報提供

他機関が実施する各種研修会への参加案内

## 4 関係機関・団体との連携

### (1) 県内関係機関・団体との連携

県内関係機関・団体の会議等への出席

県内関係機関・団体の研修会等へ後援

### (2) 県との協調・支援

県及び各市町村高齢者福祉担当課あて研修会への参加要請

### (3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

① 組織活動助成事業の申請

② メールや電話等による動向把握、連絡調整



# 大分県地域リハビリテーション研究会



会長  
武居光雄

## I. 研究会の現状

- 会長：武居光雄
- 副会長：田中努、有松ひとみ
- 幹事：各団体より代表者1名
- 監事：長岡博志、高畑智浩
- 顧問：三原太、原田禎二、本田昇司
- 名誉顧問：佐竹孝之
- 所属団体：15団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会	(公社)大分県作業療法協会
(公社)大分県言語聴覚士協会	(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県放射線技師会	(公社)大分県臨床検査技師会
(公社)大分県臨床工学技士会	(一社)大分県歯科衛生士会	(一社)大分県介護福祉士会
(一社)大分県公認心理師協会	大分県介護支援専門員協会	大分県視能訓練士協会

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### ①第17回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日時：令和2年10月17日(土)

会場：ホルトホール大分 大ホール

参加者：86名(会場32名、Web54名)

テーマ：『新型コロナウイルスにどう対応するか』

#### ➤ 講演

テーマ：『施設内における感染症発生時の対応～新型コロナウイルス発症患者を経験して～』

講師：白杵市医師会立コスモス病院 事務長 竹村仁 氏

座長：大分県リハビリテーション支援センター センター長 三原太

#### ➤ 報告

テーマ：『新しい生活様式における介護予防』

報告者①：大分県福祉保健部高齢者福祉課 課長 黒田光代 氏

報告者②：大分県社会福祉協議会地域福祉部 部長 藤田亘宏 氏

座長：大分県リハビリテーション支援センター センター長 三原太

②令和2年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会の開催

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、開催自粛

③名義後援

- 第38回大分県病院学会(令和2年11月29日(日))
- 第55回日本理学療法学会学術研修大会2020 in おおいた(令和3年5月29日・30日)

④広報誌の発行

第27号: Web配信(令和3年3月31日発行予定)

⑤運営部会の開催

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、開催自粛

⑥役員会の開催

第32回: 令和2年11月(※ 書面議決)

### III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

令和2年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行により、当研究会も例年通りの活動を行うことができず、心よりお詫びいたします。この流行は世界各国の社会や経済のみならず医療・介護・福祉分野にも多大な影響を与えることとなりました。このような現状を乗り切るには地域・医療・福祉・保健の連携は重要であり、それぞれの立場から地域の住民を支えられるよう当研究会も活動していく所存です。

今年は当研究会設立20周年という節目の年を迎えます。今後も様変わりしていく環境に柔軟に対応し、会員(職能団体)の力を借りながら、更なる多職種間の相互理解と連携を深め、円滑な運営に向け活動継続したいと考えています。

# 一般社団法人 大分県病院協会



会長  
山本 記 顯

## I. 協会の現状

### 1. 病院協会の現状（令和3年3月31日現在）

(1) 会員数 125 病院

#### (2) 構成

- ・ 会 長 山本記顯（石垣病院）
- ・ 副 会 長 畑 洋一（畑 病院）
- ・ 副 会 長 小寺 隆（佐伯中央病院）
- ・ 地区毎の理事、及び所属病院数
  - 県北（所属病院数 23）理事 佐藤仁一、瀧上 茂、川寫眞之
  - 別杵（所属病院数 23）理事 畑 洋一、黒木健次、山本記顯、内田明宏
  - 大分（所属病院数 46）理事 武居光雄、井野邊純一、帆秋善生、秋満忠郁
  - 久大（所属病院数 19）理事 山本 亨、山下太郎
  - 豊肥（所属病院数 4）理事 松尾則義
  - 県南（所属病院数 10）理事 小寺 隆、曾根 勝
- ・ 監 事 豊田貫雄、長松宜哉
- ・ 名誉会長 川寫真人
- ・ 顧 問 岡 宗由

### 2. 活動の重点項目

- 1) 医の倫理の順守
- 2) 会員間の親睦と連携の推進
- 3) 病院機能評価への対応
- 4) 地域医療介護総合確保基金利用の推進
- 5) 病院職員の技能向上を目指す各種研修会の開催
- 6) 地域包括ケアシステム構築への参画
- 7) 第 38 回大分県病院学会の開催

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### A. 病院協会の活動報告

1. 令和2年度一般社団法人大分県病院協会 定時社員総会
  - ・ 開催日時 令和2年6月27日（土）15：00～

- ・場 所 大分県医師会館 6階 研修室Ⅱ（大分市大字駄原 2892-1）
- 2. 理事会 計6回開催
- 3. 第38回大分県病院学会 実行委員会 計2回開催  
第38回大分県病院学会 運営委員会 計7回開催
- 4. 第38回大分県病院学会
  - ・学会テーマ 「疾風に勁草を知る ―病院の成長にゴールはない―」
  - ・LIVE 配信 令和2年11月29日（日）9：00～12：00
  - ・オンデマンド配信 令和2年12月1日（火）0:00～12月18日（金）24：00
  - ・場 所 別府市山の手町 ビーコンプラザ
  - ・参加人員（概数） 計1,225名
  - ・特別講演 「コロナ危機が日本社会と医療・介護・社会保障に与える影響」
  - ・シンポジウム 「新型コロナウイルスに対する病院の対応」
  - ・分科会 演題総数 131題 （口演60題・ポスター71題）
- 5. 名義後援
  - ・公益社団法人大分県老人保健施設協会
  - ・大分県地域リハビリテーション研究会
  - ・大分県リハビリテーション医学会
  - ・大分県リハビリテーション協議会
  - ・公益社団法人大分県言語聴覚士協会 他

## B. 部会（コメディカル部門）の活動報告

### 1. 看護部会

- ・感染症の影響のため、連絡・検討事項等を文書やメールで対応した

### 2. 栄養部会

- ・委員会 計1回開催

## Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域リハビリテーションの概念が包括的に大きくなり、全県下に於いて十分に認知されたと考えられます。大分県病院協会に所属する会員病院が大分県各圏域の中学校区における基幹病院として病々連携、病診連携、介護・保健との連携も含めて役割を果たし、かつ対象となる県民（高齢者、障害者、障害児等）の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように協力を惜しみません。また、災害時の医療拠点として、JMAT、AMAT 及び大分 JRAT にも総力を挙げて協力する体制を構築しました。昨今のコロナを始めとする今まで想定してこなかった事象に対しても会員病院が一致協力して立ち向かう体制を構築するように考えています。

# 公益社団法人 大分県放射線技師会



会長  
吉田 幸人

## I 本会の現状

会員：388名（令和3年3月末現在）

役員：理事13名、監事3名

本会は放射線に関する知識の普及啓発及び診療放射線学の向上発達を図るとともに県民の健康福祉の向上に寄与することを目的とし、県民への正しい放射線の知識の普及と啓発、放射線の管理及び障害防止の調査研究、診療放射線学の向上に関する研究及び指導、地域保健医療及び公衆衛生事業の推進と協力、放射線災害時に対応できる放射線測定技術者育成のための放射線量測定等を事業の柱として活動を行っている。

令和2年度に計画した事業については、COVID-19感染拡大防止のため、対面式で実施される事業は全て中止とし、学術イベント等の一部はオンラインにて開催するなど対応した。

## II 事業

### 1. 大分県放射線技師会学術大会（主催）

#### 1) 第28回学術大会（Web開催）

日時：令和2年11月6日（金）19：00～20：20

テーマ：「線量管理」

特別講演：「令和時代の医療被ばく管理における診療放射線技師の役割」

講師：川崎医療福祉大学放射線技術学科准教授 竹井泰孝先生

参加者：会員33名

#### 2) 第29回学術大会（Web開催）

日時：令和3年2月5日（金）18：45～20：55

特別講演Ⅰ：「医療安全推進の実践～ヒューマンエラーの理解とエラー対策について考える」

講師：農協共済別府リハビリテーション病院

回復期リハビリテーション部次長 医業務サポート室室長 末吉聖二先生

特別講演Ⅱ：「他者理解からつながる自己理解～メンタルヘルスの観点から～」

講師：大分大学医学・病院事務部総務課安全衛生係 保健師 江口美和先生

参加者：会員27名、大分県保健医療団体協議会会員5名

#### 3) 第6回臨床技術セミナー（Web開催）

日時：令和3年3月3日（水）19：00～

特別講演：「医療現場では教えてくれないプレゼンテーション攻略法 入門編」

講師：熊本大学病院医療技術部診療放射線部門 池田龍二先生

参加者：会員40名、非会員5名

## 2. レントゲン週間イベント（主催）

開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

## 3. げんきフェア（共催）

大分県保健医療団体協議会参加加盟団体と共に開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

## 4. 訪問授業（主催）

①藤華医療専門学校理学・作業療法科3年生対象 令和2年1月18日（月）

②藤華医療専門学校看護科3年生対象 令和3年1月25日（月）

## 5. 第17回大分県地域リハビリテーション研究会（共催）

日 時：令和2年10月17日（土）14：00～（Webとハイブリッド開催）

会 場：大分市 J:COM ホルトホール大分

他、主催事業、共催事業の内容は割愛する。

### Ⅲ 地域リハ活動における課題と連携

1. リハビリ機能評価と画像情報の関連について他職種と連携し、有益な検査方法を検討する。
2. 骨密度測定を行う立場から転倒予防教室等や医療チームなどの活動に積極的に参画する。
3. 読影補助による専門性を生かした他職種への情報提供を行う。
4. 伊方原発事故でのサーベイ活動をはじめ、大規模自然災害時に他職種と連携し、支援を行うことができる日本診療放射線技師会認定の「災害支援認定診療放射線技師」の認定取得を推進する
5. ワイヤレス X 線撮影装置、ノート型 US 装置を利用した在宅・往診検査の推進
6. 学校訪問授業や公開イベントを通じて県民へ正しい放射線の知識の普及を図る事業を行う。
7. 患者に対する放射線検査説明、被ばく相談に対応するため、日本診療放射線技師会認定の「被ばく相談員」の認定取得を推進する

# 公益社団法人 大分県薬剤師会



会長  
安東 哲也

## 1. 会の現状 会員数 1,519名

当会は、県民から信頼されて選ばれる「かかりつけ」として機能と役割を充実・強化し、積極的に多職種と連携を図ることで、「地域包括ケアシステム」を構成する一員としての役割を果たすことを目標とする。住み慣れた地域で、安全、安心して医薬品を使うことが出来るよう、医薬品の使用状況を一元的、継続的に把握し、薬物治療の責任を全うできる環境を整えるべく活動をおこなった。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域住民のためのお薬健康相談会や県民公開講座、「薬と健康の週間」におこなうイベントなど活動を制限せざるを得ない状況となった。しかし、Web配信を活用したた職種連携を目的とした研修会や会議をおこなうことで、薬剤師として十分に職能を發揮できるよう会員に情報提供をおこなった。

## 2. 地域リハ活動の報告

### ① 地域ケア会議への参画

令和2年度地域ケア会議薬剤師派遣

### ② かかりつけ薬剤師・薬局の推進

かかりつけ薬剤師・薬局の推進のため必要な知識や技術の習得を目的とした研修をおこなった。

### ③ 多職種連携による薬局の在宅医療の取り組み

地域の医療・介護の専門機関と連携し、在宅医療に必要な知識や技術の習得を目的とした研修をおこなった。

#### ○令和2年度在宅研修会

日程：令和2年10月22日（木）

場所：大分県薬剤師会館3階研修ホール※インターネット（Zoom）受講併用

講師：日出調剤薬局 菊池幸助 先生

演題：在宅医療に必要とされる薬剤師の新しい視点

### ④ 健康サポート薬局の推進（県内健康サポート薬局件数：32薬局）

かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能に加え、国民による主体的な健康の保持増進を積極的に支援する（健康サポート）機能を備えた薬局に必要な知識を習得することを目的とした研修をおこなった。

#### ○令和2年度健康サポート薬局研修

日時：令和3年3月21日（日）

場所：大分県薬剤師会館3階研修ホール

講師：大分県福祉保健部健康づくり支援課 主幹 吉田知可 様

演題：健康寿命日本一をめざす大分県の取組

講師：大分県訪問看護ステーション協議会 木野村悦子 様

演題：在宅緩和ケアの訪問看護の実際 多職種での症状緩和事例を振り返る

講師：大分県医療ソーシャルワーカー協会 理事 川野壮彦 様

演題：医療ソーシャルワーカーの取り組み 健康サポート薬局との連携を探る

#### ⑤ 薬剤師認知症対応力向上研修会の開催

薬剤師が認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携するため、基本知識や医療・介護との連携の重要性を習得することを目的とした研修をおこなった。

##### ○令和2年度薬剤師認知症対応力向上研修会

日程：令和2年11月29日（日）

場所：大分県薬剤師会館3階研修ホール※インターネット（Zoom）受講併用

講師：医療法人至誠会 帆秋病院 理事長 帆秋伸彦 先生

大分県高齢者福祉課地域包括ケア推進班 保健師 阿南恵理香 様

大分県薬剤師会 医療福祉委員会委員 長野曲来

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

地域包括ケアシステムの構築に向けて、薬剤師の知識、経験、能力を最大限に発揮すべく日々研鑽を積むとともに、地域ケア会議や在宅訪問活動において、積極的に多職種と意見交換をおこない、より連携を高められるよう努める。

今後、薬剤師が専門職として地域の求める姿に応えられるよう、県民に認められる薬剤師像の構築を目指し、取り組みをおこなっていく。



# 公益社団法人 大分県理学療法士協会



会長  
市川 泰朗

## I. 会の状況（令和3年3月31日時点）

- [1] 会員数：1,702人
- [2] 支部構成：6ブロック（大分、別杵速見、県北、県南、久大、豊肥）

## II. 地域リハ関係の活動

### [1] 地域医療、地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

- 1. 大分キャノンマテリアル定年前セミナーへの派遣
- 2. 産業理学療法研修会の開催（地域で実践する産業理学法のポイントについて）
- 3. 狭間中学校スクールヘルスサポート（運動器検診）
- 4. ウイメンズヘルス事業（研修会の開催、子育て支援事業、リーフレット作成）

### [2] 行政等他組織の事業への協力・支援

- 1. 大分県福祉保健部主催「新型コロナウイルス感染対策に伴う生活不活発病対策検討会」への出席
- 2. 大分県福祉保健部主催「住民参画型介護予防」への継続支援
- 3. 大分県スポーツ協会 メディカルチェックへの協力
- 4. スポーツ少年団スポーツ外傷・障害防止研修会への派遣
- 5. 大分県社会福祉介護研修センター運営委員会福祉用具専門部会への参加協力
- 6. 杵築市 地域づくりによる介護予防推進のための指導者派遣（立ち上げ技術指導）
- 7. 大分県高齢者福祉課 介護予防職員育成推進事業における研修会への派遣
- 8. 健康づくり支援課 心と体の職場環境改善アドバイザー養成企画、モデル実践
- 9. 大分県社会福祉介護研修センター「介護職員現任者研修」への派遣
- 10. 大分県社会福祉協議会 地域ケア会議コーディネーター養成研修へ派遣
- 11. 介護認定審査会への認定委員派遣
- 12. 障がい者介護給付費等認定審査会派遣
- 13. 地域ケア会議及び自立支援型ケアプラン相談会等への専門職種派遣
- 14. 大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業派遣

### [3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

- 1. 広報誌「志（こころざし）Vol.11」発行及び発送（部数3,000部／会員施設、個人会員、会員外、県内中学校・高等学校、教育事務所、県内18市町村の公民館へ送付）
- 2. ニュース「あおぞら」発行及び発送（部数2,100部／発行回数年03回／会員、会員所属施設、賛助会員、行政、マスコミ関係、関係団体へ送付）

#### [4] 地域リハビリテーションの理解と実行に向けた事業

1. 推進リーダー育成研修：①地域包括ケア：地域ケア会議に求められる理学療法士の役割、模擬会議の実際②介護予防：介護予防事業の取り組み・展開・企画立案・実践事例の紹介 他
2. 地域包括ケア関連事業協力者登録システムとネットワークの構築（市町村担当者の設置や協会員派遣・支援体制の整備）
3. 介護予防従事者研修：予防に向けた運動指導の実際、結果のだせるトレーニングマニュアル改訂報告、「各市町村における介護予防事業の現状と課題」の意見交換
4. 地域包括ケアシステム研修の開催：入院から始まる退院支援について
5. 地域ケア会議における理学療法士派遣についての実態調査報告
6. リハビリテーション会議等における理学療法士の発言の質についての実態調査報告
7. 「フレイル対策推進マネジャー」取得に向けた広報活動

### III. 地域リハの活動における課題・今後の取り組み

これまで当会では地域ケア会議、介護予防事業、ヘルスカウンセラー等の人的派遣を通して地域活動を行ってきました。ここ数年は、高齢者にとどまらず幅広い年齢層に対する予防・健康維持増進等を目的に産業理学療法、ウィメンズヘルスやスクールヘルスといった領域での事業を展開していましたが、令和2年度はCOVID-19によって我々の活動も大きな影響を受けました。研修事業についてはその大半を下半期に延期し、Webで実施できましたが、体力測定や健康相談ブースを設けていた理学療法週間事業、すこやか家族博覧会、元気フェアなど地域のイベントは軒並み中止となりました。令和2年度の当会主催の事業執行率は64%となっています。また昨年は対外的な活動の窓口となる市町村担当者を協会内で選出しました。

今後の課題として市町村における渉外活動の強化と併せ、行政と連携が取れる人材をしっかりと育成し、スピード感が求められる地域事業に対しても地元の多くの担い手で着手できる体制を組織内で構築していく必要があります。新型コロナウイルスの終息にはまだ月日がかかりそうですが、引き続き感染拡大防止と各種事業を両立しながら、感染ステージの変化に対応できる主体的な公益事業を展開して参りたいと存じます。

# 公益社団法人 大分県臨床検査技師会



会長  
佐藤元恭

当会は、現在 810 名の会員を有し、職能団体及び学術団体として会員の技術向上に努めると共に県民の保健予防・疾病予防の早期発見のために、日々それぞれの部門で活動を行っている。学術部、組織部は会員の専門的知識の向上や地区会員との交流を深める活動を行い、企画部は一般市民を対象に公益事業を行い、また職能集団として臨床検査についての理解を深める活動を行っている。しかしながら令和 2 年度はコロナ禍により、自粛しなければならない状況での事業となった。

## 【学術部門】

学術部は生物化学、臨床一般、臨床血液、臨床微生物、臨床生理、輸血細胞治療、染色体・遺伝子、臨床検査総合、病理細胞部門の 9 部門において毎年 50 回程の研修会を開催しているが、今年度はコロナの影響により 6 部門による 10 研修会に留まり総参加者数は 325 名であった。

### (各部門研修会)

染色体・遺伝子部門	1 回
輸血細胞治療部門	1 回
臨床生理部門	2 回
臨床血液部門	2 回
臨床一般部門	2 回
臨床検査総合管理部門	2 回

### (学会・その他)

精度管理調査報告会	12 月	1 回 (医師会と共催)
学術合同地区合同講演会	3 月	1 回 (ハイブリッド開催)
大分県臨床検査学会	3 月	1 回 (ハイブリッド開催)

### (その他コロナに対する研修会)

令和 2 年 6 月 2 日付け厚生労働省医政局医事課・厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡「臨床検査技師に対する新型コロナウイルス感染症の診断を目的とした PCR 検査のための鼻腔・咽頭拭い液の採取に関する研修の実施について」にある通り、県からの委託を受け「新型コロナウイルス感染症の診断を目的とする PCR 検査体制の更なる強化」および「鼻腔・咽頭拭い液の採取が可能な臨床検査技師の増員」を目的とした実技研修会を開催した。

## <第1回>

開催日時：令和2年11月8日（日）13：00～16：30

開催場所：大分県医師会会館 6階研修室

参加者数：臨床検査技師80名

研修内容：

1. 開会の挨拶・研修会の趣旨説明
2. 新型コロナウイルス感染症の現状と対策～臨床検査技師に期待することを含めて～  
講師 平松和史 教授（大分大学医学部 医療安全管理医学講座）
3. 新型コロナウイルス感染症の現状とPCR検査  
講師 八尋隆明 技師（大分大学医学部 微生物学講座）
4. 鼻腔咽頭からの検体採取（大分赤十字病院 臨床検査部）
5. PCR機器メーカーによるプレゼンテーション（ブース形式で実施）  
講師 各9メーカーの担当者

## <第2回>

開催日時：令和2年12月12日（土）14：30～16：30

開催場所：大分大学医学部 基礎実習棟3階 微生物学実習室

参加者数：臨床検査技師23名

研修内容：

1. 挨拶：大分大学医学部微生物学講座 西園 晃 教授
2. リアルタイムRT-PCR測定法によるC O VID-19の核酸検出検査（実習）
3. 遺伝子検査におけるマイクロピペットの使い方（講義）
4. 遺伝子検査について講義 ※リアルタイムRT-PCR測定中に実施
5. C O VID-19の核酸検出の判定

## 【精度管理事業】

『大分県医師会精度管理調査』と『臨床検査データ標準化事業』の2本柱で実施している。

大分県医師会精度管理調査は33年、臨床検査データ標準化事業は14年の実績があり、施設の臨床検査の質の向上と維持に欠かせない事業となっている。

### 1) 実施項目

臨床化学（グルコース、総ビリルビン、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、無機リン、血清鉄、総蛋白、アルブミン、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、CRP、AST、ALT、ALP、LD、アミラーゼ、CK、 $\gamma$ -GTP、ChE、HbA1c、尿蛋白、尿糖）

血 清（HBs抗原、HCV抗体）

細 菌（グラム染色、フォトサーベイ、同定、感受性）

血 液（白血球、赤血球、ヘモグロビン、MCV、血小板、プロトロンビン時間、活性化部分トロンボプラスチン、フィブリノゲン、フォトサーベイ）

病理・細胞（フォトサーベイ・一般（尿定性、フォトサーベイ）・生理（フォトサーベイ）

輸 血（血液型、不規則性抗体、交差試験）

## 2) 第 33 回精度管理報告会

日 時：令和 2 年 12 月 20 日（日）10:00～12:15

場 所：大分県医師会館 7 階大会議室

内 容：各分野の精度管理解析報告

講 師：各分野の精度管理解析委員

参加人数：49 名（会場参加）ハイブリット開催

## 3) 大分県臨床検査データ標準化事業

日本臨床検査標準化協議会（JCCLS）が行ってきた臨床検査標準化事業の“柱の 2”を継承し、日本臨床衛生検査技師会が主催する臨床検査データ標準化事業が 2007 年度（平成 19 年度）から始まり、2020 年度（令和 2 年度）で 14 年の実績がある。大分県においては大分県医師会精度管理委員会標準化部会脂質班が行ってきた県下の脂質測定標準化事業を発展的に継承した大分臨床検査データ標準化事業を同時に開始した。また、管理試料には九州ロット Q-112 と Q-312 の 2 濃度を用い、目標値は九州各県の基幹施設を中心とした 16 施設で設定し、大分県からは大分大学医学部附属病院および大分県立病院が参加している。

### 1. 基幹施設

アルメイダ病院、大分県立病院、大分大学附属病院、別府医療センター、大分記念病院、南海医療センター、大分県済生会日田病院、宇佐高田医師会病院の 8 基幹施設を設置して参加施設への指導等を行った。

### 2. 参加施設

基幹施設を含む参加施設総数は 78 施設で、地域毎に 8 ブロックに分けて基幹施設を中心に事業を行った。使用している試薬・分析装置・キャリブレーションについての測定環境を調査し、毎月第 3 水曜日に試料を配布して測定している。大分県下の 8 基幹施設は 2 ヶ月に 1 回の頻度（基本的に偶数月）で実務委員会を行い、毎月行っている参加施設の測定状況や事業の方向性などを討議している。

## 【組織部】・【企画部】

組織部は、会員相互の親睦を図る事を目的として活動している。大分地区・別杵地区・県西地区・県北地区・県南豊肥地区の 5 ブロックで各地区の要望に沿った研修会や交流会を企画し、さらに公益事業として各地区で開催される健康イベントも企画部と協力して行っている。しかしながら今年度の各研修会・公益事業としての“リレーフォーライフ”、竹田市・日田市の健康フェアなどはコロナ禍により中止となった。

他団体との事業として大分県保健医療団体協議会（11 団体）、大分県地域リハビリテーション研修会、「大分県リハ支援センター・地域リハ研究会合同研修会」の活動も中止となったが、今後も他団体との共同・共催の公益事業には積極的に活動できる体制を整えていきたいと考えている。

今後の動きとして、

- 1) 2024 年 4 月～医師の働き改革が具体化されて、臨床検査技師の業務拡大（8 業務）への厚生労働省指定講習会実施計画（案）が予定されている。研修体制にどう対応していくか、臨床検査技師のチーム医療への新たな参画が今後の大きな課題となっている。

1. 採血に伴い静脈路確保し、電解質輸液に接続する行為
2. 静脈路を確保し造影剤注入する一連の行為
3. 成分輸血のための装置を接続する行為
4. 持続皮下グルコース検査
5. 検査のための経口・経鼻等からの喀痰を吸引して採取する行為
6. 直腸肛門機能検査
7. 消化管内視鏡時の医師の立ち合いのもと組織採取をする行為
8. 運動誘発電位検査等に係る電極の装着（針電極含む）・脱着

2) 臨床検査技師の卒前教育としての臨床検査技師養成所指導ガイドラインが改訂され、2022年4月の入学生から適用となる。その中には臨地実習に係わる規定も含まれ、「必ず実施させる行為」、「必ず見学させる行為」、「実施させる事が望ましい行為」の行動目標と評価方法が記載され客観的に評価できる内容となっている。このガイドラインに対して臨地実習施設においては、5年以上の実務経験を有し厚生労働省が定める臨地指導者講習会を修了した「臨地実習指導者」の配置が義務付けられ、技師への研修が必要となるため県技師会としても今後の動きに対応しなければと考えている。

最後に、チーム医療に貢献できる環境整備が整ってきた中、将来を見据えた新たな業務に対する職域拡大に取り組み、協力型業務から更に一步踏み込んだ業務への真の参画がこれからの臨床検査技師の在り方だと考える。

# 公益社団法人 大分県臨床工学技士会



理事長  
小 川 一

## 会の現状

会員数 352 名（令和3年3月31日現在）

## 令和元年度主な活動と取組

### I. 学術技能に関する事

1. 医療機器安全管理セミナーの開催  
→コロナの影響にて開催自粛
2. 第39回大分人工透析研究会支援参加協力  
令和2年9月19日（土）web開催
3. 第12回大分県臨床工学会の開催  
日時：令和2年12月12日（土）～12月13日（日）  
場所：（株）アステム会議室およびWebを利用したハイブリッド開催  
参加者 135名
4. 第12回大分県臨床工学会市民公開講座の開催  
日時：令和2年12月13日（日）  
演者：大分県保健福祉部参事監兼感染症対策課長 藤内修二 先生  
「新型コロナウイルスとどう向き合うか？」

### II. 関連団体との交流に関する事

#### 1. 災害対策に関する事

- ・令和2年9月1日（火）  
日本透析医会「災害時情報伝達訓練」に協力。  
“おおいた医療情報ほっとネット”を利用した災害時情報入力訓練に協力。  
（大分県福祉保健部健康づくり支援課と連携）  
事前に県内の施設に参加を呼び掛ける（災害ネットワークを利用）
- ・令和2年9月5日（土）  
大分県透析医療「第6回災害を考える日」を開催  
“コロナ禍における対応および令和2年7月豪雨の対応”を報告（田邊）

各医療関係団体と交流を図り県民への公益事業を行う（渉外部門）

#### (1) 大分県地域リハビリテーション研究会

- ・第17回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

→コロナの影響にて中止

- ・第9回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

→コロナの影響にて中止

運営部会への参加

→コロナの影響にて中止

役員会への参加

第32回役員会 令和2年11月 書面議決

大分県リハビリテーションセンター 第18回拡大運営会議

→コロナの影響にて中止 活動報告書を提出

## (2) 大分県医療保険団体協議会

- ・令和2年度第1回大分県保健医療団体協議会理事会

日時：令和2年7月17日（金） 書面議決

内容：令和元年度事業・決算報告・令和2年度事業計画（案）等

- ・令和2年度第2回大分県保健医療団体協議会理事会

日時：令和3年3月31日（水） Web開催

内容：令和2年度事業・決算報告・令和3年度事業計画（案）等

- ・大分県保健医療団体協議会研修会

大分県医療ソーシャルワーカー協会担当→コロナの影響にて中止

## (3) 医工連携

- ・東九州メディカルバレー構想推進大会へ参加

日時：令和2年10月23日・24日（金・土）

会場：ホテル日航大分

垣迫副理事長 大石監事 高畑理事出席

## (4) 大分市ヤングキャリアアドバイザー事業

本年度は3名で活動予定であったが、コロナの影響にて中止となった。

大分市より次年度からの協力要請があった。

当会の認知度向上の取り組みとして、日本臨床工学会誌 2020 No.70 へ昨年度の活動報告を掲載した。姫野委員 若宮委員

## 地域リハビリテーション活動における課題・今後の取り組み

昨年度は、コロナの影響にて例年通りの活動ができませんでした。本年度は昨年度の反省を踏まえ、Web等を利用した事業活動についても積極的に取組んでいきたい。また、昨年同様我々臨床工学技士も各職種と連携し、在宅血液透析や在宅人工呼吸器等、質の高い在宅医療の確保にお手伝い出来るように、準備をしていきたい。



## 連絡先一覧

### 1. 県リハ支援センター・広域支援センター

#### ○大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）

独立行政法人 地域医療機能推進機構 <b>湯布院病院</b> （旧：湯布院厚生年金病院） 〒 879-5193 由布市湯布院町川南 252 TEL (0977-84-3171) FAX (0977-85-5880)
--

#### ○大分県地域リハビリテーション広域支援センター

圏域	地域	施設名	所在地	TEL/FAX
東部	東国東	国東市民病院	873-0431 国東市安岐町大字下原1456	0978-67-1211 0978-67-3190
	別杵速見	農協共済別府リハビリテーションセンター	874-8611 別府市鶴見1026-10	0977-67-1711 0977-67-1712
中部	大分	井野辺病院	870-0021 大分市大字中尾字平255番地	097-586-5522 097-586-5656
		大分リハビリテーション病院	870-0105 大分市大字志村字谷ヶ迫765番地	097-503-5000 097-503-5888
	臼津	臼杵市医師会立コスモス病院	875-0051 臼杵市戸室字長谷1131-1	0972-62-5599 0972-62-3928
南部	佐伯	長門記念病院	876-0835 佐伯市鶴岡町1-11-59	0972-24-3000 0972-23-6640
豊肥	大野	社会医療法人 帰巖会 みえ病院	879-7111 豊後大野市三重町赤嶺1250-1	0974-22-2222 0974-22-0222
	竹田	大久保病院	878-0204 竹田市久住町栢木6026-2	0974-77-2341 0974-77-2247
西部	日田・玖珠	大分県済生会 日田病院	877-1233 日田市三和643-7	0973-24-1100 0973-22-1269
北部	中津	川 巖 整形 外科 病院	871-0012 中津市宮夫14-1	0979-24-0464 0979-24-6258
	宇佐・高田	佐藤第一病院	879-0454 宇佐市法鏡寺77-1	0978-32-2110 0978-33-4918

## 2. 県内地域リハビリテーション専門職能団体（拡大運営会議構成団体）連絡先

(五十音順)

団 体 名	住 所	TEL	FAX
大分県医療ソーシャルワーカー協会	875-0051 臼杵市戸室 1131-1 臼杵市医師会立コスモス病院 地域医療福祉連携室内	0972-62-5599	0972-62-3928
大分県栄養士会	870-0912 大分市原新町 9-2	097-556-8810	097-556-8921
大分県介護支援専門員協会	870-1133 大分市宮崎 1367-1 甲斐ビル 215 号	097-504-7500	097-504-7501
大分県介護福祉士会	870-0921 大分市萩原 4-8-58 大分県整骨会館 3F	097-551-6555	097-547-9936
大分県看護協会	870-0855 大分市豊饒 310 番地の 4	097-574-7117	
大分県言語聴覚士協会	870-0048 大分市碩田町 1-1-27 3 階	097-529-7105	097-529-8109
大分県公認心理師協会 (大分県臨床心理士会)	874-8501 大分市長浜町 1 丁目 7-3 サンライズ長浜 401 号室	0977-67-0101	
大分県作業療法協会	870-0038 大分市西春日町 3-2 大分県作業療法協会ビル	097-547-8662	097-547-8663
大分県歯科医師会	870-0819 大分市王子新町 6-1	097-545-3151	097-545-3155
大分県歯科衛生士会	870-0819 大分市王子新町 6-1 大分県歯科医師館内	097-545-3203	097-545-3203
大分県視能訓練士会	874-0935 別府市駅前町 5-5 高木眼科医院内	0977-23-1230	0977-23-1299
大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	870-0907 大分市大津町 2-1-41	097-558-0300	097-558-6001
大分県地域リハビリテーション医師懇話会	870-0862 大分市中尾字平 255	097-586-5522	097-586-5656
大分県地域リハビリテーション研究会	870-0945 大分市津守 888-6 諏訪の杜病院内	097-567-1277	097-567-3066
大分県病院協会	870-8563 大分市大字駄原 2892-1 大分県医師会館 5 階	097-540-5526	097-540-5597
大分県放射線技師会	879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地 大分大学医学部付属病院 医療技術部放射線部門内	097-586-6020	097-586-6029
大分県薬剤師会	870-0855 大分市豊饒字光屋 441-1	097-544-4405	097-544-1051
大分県理学療法士協会	870-0855 大分市豊饒 3-4-1	097-507-9845	097-507-4317
大分県臨床検査技師会	876-0857 佐伯市常盤西町 11-20	0972-22-0547	0972-22-0614
大分県臨床工学技士会	870-0844 大分市古国府 1155-1 (㈱マイダスココミュニケーション内)	097-544-7070	097-567-1612

※介護保険サービス事業所の連絡先は県庁ホームページの「介護保険指定事業所一覧」から検索ください。

※地域包括支援センター一覧表は大分県庁ホームページより検索ください。

大分県庁ホームページ  
www.pref.oita.jp

## 地域リハビリテーション 活動報告書(令和2年度版)

---

発行日 令和3年7月1日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター  
センター長 三原 太

編集 事務長 山西 啓一郎  
県リハ運営部長 迫頭 友美  
運営部事務長兼運営部長補佐 佐藤 友美  
支援連携室 吉村 修一

由布市湯布院町川南252

JCHO湯布院病院内

TEL 0977-84-3171

FAX 0977-85-5880

---

## 地域リハビリテーション活動報告書(令和2年度版)

発行日 令和3年7月1日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター  
センター長 ……………三原 太

編集 事務長 ……………山西啓一郎  
県リハ運営部長 ……………迫頭 友美  
運営部事務長兼運営部長補佐 ……佐藤 友美  
支援連携室 ……………吉村 修一

由布市湯布院町川南252 JCHO湯布院病院内  
TEL:0977-84-3171 FAX:0977-85-5880